

平成 2 4 年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成 2 3 年度対象)

平成 2 4 年 8 月

高 梁 市 教 育 委 員 会

|    |
|----|
| 目次 |
|----|

## 第1章 はじめに

|                    |   |
|--------------------|---|
| 1 制度の目的            | 1 |
| 2 点検・評価の方法         | 1 |
| 3 点検・評価に関する有識者について | 1 |

## 第2章 教育委員会の活動状況

|               |   |
|---------------|---|
| 1 教育委員の選任状況   | 2 |
| 2 教育委員会議の開催状況 | 2 |
| 3 教育委員会審議案件   | 2 |
| 4 その他主な活動状況   | 3 |

## 第3章 教育委員会事務局の行政組織

4

## 第4章 教育委員会事務局の事務分掌

4

## 第5章 教育委員会の基本方針と重点施策

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1 平成23年度基本方針及び重点施策 | 9  |
| 2 教育行政重点施策の体系      | 10 |

## 第6章 教育行政重点施策の点検及び評価の結果

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1 点検及び評価結果の構成                      | 11 |
| 2 点検及び評価の結果                        | 12 |
| I 心身ともにたくましい子どもが育つ学校教育を進めます        | 14 |
| II 学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもの教育に取り組めます | 29 |
| III 生涯学習の機会をを広げ、人権尊重の意識を育てます       | 38 |
| IV 地域の伝統や文化の維持向上をめざします             | 46 |
| V スポーツの振興を図ります                     | 52 |

### 1 制度の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月からすべての教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、市民へ公表することになりました。

高梁市教育委員会では、地教行法の規定に基づき、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の皆さまへの説明責任を果たすことを目的として、平成23年度に重点的に取り組んだ事業について点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

《参考》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の方法

高梁市教育委員会では、毎年度教育行政の基本方針やその年度の重点的に取り組むべき施策として「教育行政重点施策」を定めています。この重点施策に基づき行っている事業について、教育委員会が自ら点検・評価を行いました。

### 3 点検・評価に関する有識者について

点検・評価を実施するにあたり、地教行法第27条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する次の3名の方に、教育委員会が行った点検・評価の結果について、ご意見等をいただきました。

平 岡 弘 正 氏（吉備国際大学社会学部教授）

柴 倉 初 美 氏（元高梁市立幼稚園長）

平 松 弘 人 氏（元高梁市立中学校長）

## 第 2 章 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員の選任状況（平成 23 年度在籍）

| 氏 名     | 在任期間又は任期                | 備 考                   |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| 大内 道 登  | H21. 11. 16～H25. 11. 15 | H21. 11. 16～ 委員長      |
| 五 島 章 友 | H20. 11. 16～H24. 11. 15 | H21. 11. 16～ 委員長職務代理者 |
| 山 下 里 絵 | H19. 11. 16～H23. 11. 15 |                       |
| 山 内 廣 子 | H21. 11. 16～H26. 11. 15 |                       |
| 藤井伊津子   | H23. 11. 16～H27. 11. 15 |                       |
| 平 田 守   | H20. 11. 16～H24. 11. 15 | H20. 11. 16～ 教育長      |

### 2 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月 1 回定例会を開催し、また必要に応じて臨時会を開催しています。平成 23 年度は定例会 12 回、臨時会を 1 回開催しました。

### 3 教育委員会審議案件

地教行法第 26 条及び高梁市教育委員会事務委任規則の規定に基づき、平成 23 年度は合計 63 件について審議しました。

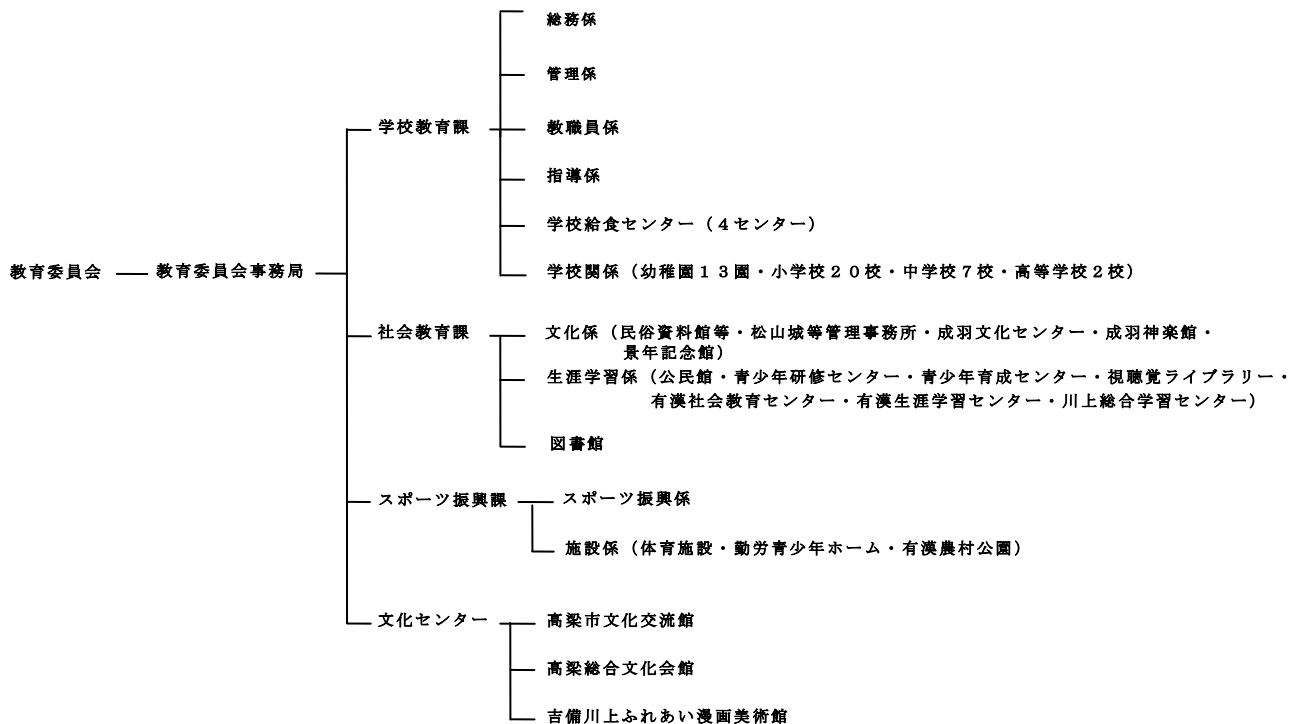
- (1) 教育行政に関する基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・ 3 件
- (2) 教育委員会規則等の制定又は改廃・・・・・・・・・・・・・・ 25 件
- (3) 教育予算その他議会の議決を要する議案に関する事..... 6 件
- (4) 職員（教職員を含む）の人事に関する事..... 2 件
- (5) 法令又は条例等に定めのある附属機関の委員の委嘱..... 15 件
- (6) 教科書の採択に関する事..... 4 件
- (7) 通学区域の設定又は変更に関する事..... 2 件
- (8) 教育委員会に係る事務の点検及び評価に関する事..... 1 件
- (9) その他..... 5 件

#### 4 その他主な活動状況

| 年 月         | 教育委員が出席した活動等                                                                                     |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 23 年 4 月 | ・ 市立小学校・中学校・高等学校入学式                                                                              |
| 5 月         | ・ 教育施設訪問（文化施設 4 箇所）<br>・ 高梁・新見地区教科用図書採択市教育委員会協議会<br>・ 市町村教育委員会人権教育連絡会<br>・ JFA こころのプロジェクト夢の教室調印式 |
| 6 月         | ・ 市議会 6 月定例会<br>・ 第 26 回童謡まつり in 高梁                                                              |
| 7 月         | ・ 岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会<br>・ 高梁・新見地区教科用図書採択市教育委員会協議会                                                |
| 8 月         | ・ 子育てふれあいフェスティバル 2011                                                                            |
| 9 月         | ・ 市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校運動会<br>・ 市議会 9 月定例会                                                          |
| 10 月        | ・ 市立高校運動会<br>・ 学校訪問（幼稚園 1 園・小学校 3 校・中学校 1 校）                                                     |
| 11 月        | ・ 岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会<br>・ 学校訪問（幼稚園 4 園・小学校 3 校・中学校 1 校）<br>・ 平成 23 年度教育委員会表彰表彰式                 |
| 12 月        | ・ 市議会 12 月定例会                                                                                    |
| 平成 24 年 1 月 | ・ 成人祝賀式                                                                                          |
| 2 月         | ・ 第 33 回愛らぶ高梁ふれあいマラソン                                                                            |
| 3 月         | ・ 市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校卒業式<br>・ 吹屋小学校・布寄小学校閉校式<br>・ 市議会 3 月定例会                                      |

### 第3章 教育委員会事務局の行政組織（平成23年4月1日）

（組織図）



### 第4章 教育委員会事務局の事務分掌（平成23年4月1日）

○高梁市教育委員会組織規則（第7条各課・係の分掌事務）

#### 学校教育課

##### 総務係

- (1) 課内の庶務に関する事。
- (2) 教育委員会の会議及び教育委員の報酬等に関する事。
- (3) 請願及び陳情に関する事。
- (4) 儀式表彰に関する事。
- (5) 条例、規則その他例規及び公告式に関する事。
- (6) 事務局職員及び教育機関職員(校長、教員を除く。)の人事、給与及び福利厚生等に関する事。
- (7) 文書の受発及び広報に関する事。
- (8) 事務局の物品に関する事。
- (9) 学校の経理事務指導に関する事。
- (10) 公印の保管に関する事。
- (11) 事務引継に関する事。
- (12) 各課の連絡調整に関する事。
- (13) 他の課及び課内の他係に属さない事。
- (14) 寄付採納に関する事。
- (15) 奨学金に関する事。

#### 管理係

- (1) 学校の用地、建物等に係る取得及び処分に関する事。
- (2) 学校の用地、建物等に係る維持管理に関する事。
- (3) 学校に係る物品に関する事。
- (4) 学校に係る施設台帳に関する事。
- (5) 教員住宅に関する事。
- (6) 諸契約に関する事。

#### 教職員係

- (1) 教育職員の人事及び福利厚生に関する事。
- (2) 学級編制に関する事。
- (3) 教育職員の免状及び履歴書整備に関する事。
- (4) 学齡児童及び生徒の就学事務に関する事。
- (5) 園児及び児童生徒の就学援助並びに保育料に関する事。
- (6) 通学区域の設定及び変更に関する事。
- (7) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱に関する事。
- (8) 学校諸帳簿の整備監督に関する事。
- (9) 教育職員及び児童生徒の身体検査及び福利厚生に関する事。
- (10) スクールバスに関する事。
- (11) その他学校教育に関する事。

#### 指導係

- (1) 学校給食に関する事。
- (2) 教科内容及びその取扱いに関する事。
- (3) 学校教育についての指導及び助言に関する事。
- (4) 教科用図書の採択に関する事。
- (5) 教育方法の改善に関する事。
- (6) 教育研修及び職員講習会に関する事。
- (7) 教育資料の記録収集及び保存に関する事。
- (8) 学校の環境衛生に関する事。
- (9) 教育職員及び児童生徒の保健に関する事。
- (10) 園児の預かり保育に関する事。
- (11) 教育相談事業に関する事。
- (12) やすらぎ教室に関する事。
- (13) 幼保一元化の調整に関する事。

## 社会教育課

### 文化係

- (1) 文化芸術の振興に関すること。
- (2) 文化団体の指導育成に関すること。
- (3) 文化施設に関すること。
- (4) 文化財の保護及び活用に関すること。
- (5) 天然記念物の保護管理に関すること。
- (6) 伝統的建造物群保存地区に関すること。
- (7) 民俗芸能の伝承に関すること。
- (8) 国民文化祭の開催に関すること。

### 生涯学習係

- (1) 課内の庶務に関すること。
- (2) 社会教育、生涯学習の推進に関すること。
- (3) 生涯学習施設及び社会教育関係施設に関すること。
- (4) 社会教育委員に関すること。
- (5) 成人教育、青少年教育及び家庭教育に関すること。
- (6) 人権教育に関すること。
- (7) 視聴覚教育に関すること。
- (8) 生涯学習関係機関、団体との連絡調整及び指導育成に関すること。
- (9) 児童、青少年の健全育成に関すること。
- (10) 課内の他係に属さないこと。

## スポーツ振興課

### スポーツ振興係

- (1) 課内の庶務に関すること。
- (2) スポーツ振興審議会に関すること。
- (3) 体育諸団体との連絡調整及び指導育成に関すること。
- (4) 市民体育に関すること。
- (5) 生涯スポーツに関すること。
- (6) 競技スポーツに関すること。
- (7) レクリエーション活動に関すること。
- (8) 体育指導委員に関すること。
- (9) 課内の他係に属さないこと。

### 施設係

- (1) 体育施設の整備計画に関すること。
- (2) 体育施設の利用、管理運営に関すること。
- (3) 高梁市都市公園条例(平成16年条例第253号)第9条別表2に定める施設の利用、管理運営に関すること。

## 文化センター

- (1) 文化センター内の庶務に関すること。
- (2) 文化交流館、高梁総合文化会館及び吉備川上ふれあい漫画美術館の利用、管理運営に関すること。
- (3) 文化交流館、高梁総合文化会館の運営委員会に関すること。
- (4) 催事の企画及び実施運営に関すること。

## ○高梁市立学校給食センター条例施行規則（第4条事務分掌）

### 学校給食センター(管理部門)

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 文書の収受発送に関すること。
- (3) 職員の服務及び福利厚生に関すること。
- (4) 予算及び経理に関すること。
- (5) 給食物資の購入に関すること。
- (6) 施設及び設備の管理に関すること。
- (7) 衛生管理に関すること。
- (8) 運営委員会に関すること。
- (9) 給食の配送に関すること。
- (10) 他の所管に属しない事項

### 学校給食センター(調理部門)

- (1) 学校給食実施計画の作成に関すること。
- (2) 給食物資の需要申請に関すること。
- (3) 献立作成及び調理指導に関すること。
- (4) 給食物資の保管に関すること。
- (5) 調理及び配分に関すること。
- (6) 食器などの洗浄、消毒及び保管に関すること。
- (7) 栄養の調査研究及び統計に関すること。

## ○高梁市立図書館条例施行規則（第6条分掌事務）

### 図書館(庶務係)

- (1) 寄贈、寄託資料の受入れ及び処理に関すること。
- (2) 施設設備の維持管理に関すること。
- (3) 予算の経理に関すること。
- (4) 職員の福利厚生に関すること。
- (5) 調査、統計に関すること。
- (6) 文書の発受、保存に関すること。
- (7) 広報、宣伝に関すること。
- (8) 図書館協議会に関すること。
- (9) 文化、芸術活動に関すること。
- (10) 他の図書館、学校、公民館等との連絡、協力に関すること。
- (11) ボランティア参加の促進に関すること。
- (12) 他の係に属しない事務に関すること。

#### 図書館(奉仕係)

- (1) 閲覧室、書庫の整備に関すること。
- (2) 館内奉仕活動に関すること。
- (3) 館外奉仕活動に関すること。
- (4) 図書資料の収集に関すること。
- (5) 電子資料の作成収集に関すること。
- (6) 資料の分類、目録の作成及び図書原簿等の整備に関すること。
- (7) 資料の修理、保存に関すること。
- (8) レファレンス、サービスに関すること。
- (9) 相互貸借に関すること。
- (10) 読書会の育成と指導に関すること。
- (11) 広報活動に関すること。
- (12) 利用者の秩序、維持に関すること。
- (13) 利用の調査、統計に関すること。

#### ○高梁市文化センター条例施行規則（第2条事業）

##### 高梁総合文化会館

- (1) 文化会館の管理運営に関すること。
- (2) 視聴覚ライブラリー事業及び視聴覚教育に関すること。
- (3) 地域の観光及び物産の展示、宣伝に関すること。
- (4) 文化活動の情報収集及び提供に関すること。
- (5) その他目的達成に必要な事業

##### 文化交流館

- (1) 生涯学習に係る講座等の開設及び講習会、講演会等の開催に関すること。
- (2) 生涯教育関係者の研修及び生涯教育指導者の養成に関すること。
- (3) 生涯学習に係る調査研究並びに情報の収集及び提供に関すること。
- (4) 生涯学習の相談に関すること。
- (5) 生涯学習活動のため、施設及び機器の利用に関すること。
- (6) 生涯学習の図書・記録その他必要な資料の収集、保存及び市民の利用に関すること。
- (7) 高梁市歴史美術館は、博物館法(昭和26年法律第285号)の規定により、美術品等を収集し、保管し、展示して市民の教育、学術及び文化の発展に寄与すること。
- (8) その他目的達成に必要な事業

#### ○高梁市吉備川上ふれあい漫画美術館条例（第5条業務）

##### 吉備川上ふれあい漫画美術館

- (1) 漫画図書の収集、展示及び提供
- (2) 漫画文化に関する専門的な調査、研究及び資料の収集並びに提供
- (3) 漫画に関する各種イベント、展示会、講習会、研究会、講座及び映写会等の開催
- (4) 富永一朗氏の原画及び愛用品等の展示
- (5) その他目的達成に必要な業務

### 1 平成23年度基本方針及び重点施策

社会環境が大きく変化する中で、学校教育をはじめとして、生涯学習やスポーツ、文化芸術活動はますます重要なものとなり、その果たす役割に大きな期待が寄せられています。

特に、本市においては、教育関係の全ての分野において、こうした変化に適切に対応し、生涯にわたり心豊かに、たくましく生きていく意欲と、実践力を備えた、新時代を担う人間の育成が最も重要となっています。

このような状況の中、国においては、教育基本法第17条第1項に基づき、平成20年7月に政府として初めての教育に関する総合的計画として「教育振興基本計画」が閣議決定されました。また、岡山県教育委員会では、平成22年2月に平成22年度から平成26年度までの5年間の計画期間とする岡山県教育振興の総合的な計画として「岡山県教育振興基本計画 - 未来を拓く人づくりプラン -」が策定されました。

本市においても、こうした動向を踏まえ、平成22年度が初年度となる高梁市新総合計画で示した教育分野をより具体化する「高梁市教育振興基本計画」を平成23年3月に策定しました。本計画は、「夢と志をもち未来を拓く人づくり」を基本方針として、生きる力を育み、目標に向かって夢と志をもち、ふるさとに愛着と誇りをもつことができる人づくりをめざし、5年間の計画期間に様々な施策を展開していきます。

この基本方針に基づき、学校教育、家庭や地域社会の教育、スポーツや、それぞれの地域の特色ある文化芸術活動の活性化など、高梁の豊かな自然や歴史文化など地域資源を生かし、学校・家庭・地域が連携・協力し、地域全体の教育力の向上に取り組むため、次の5項目を基本目標とし、それぞれ重点施策を定めて総合的な取組をします。

- 1 心身ともにたくましい子どもが育つ学校教育を進めます
- 2 学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもの教育に取り組めます
- 3 生涯学習の機会を広げ、人権尊重の意識を育てます
- 4 地域の伝統や文化の維持向上をめざします
- 5 スポーツの振興を図ります

子どもたちが、自ら学び、自ら考える力や、豊かな人間性など、「生きる力」を育む学校づくりのために、子ども一人ひとりを大切に、基礎・基本の確実な定着を図るなど、人格の完成をめざした取組を進めます。

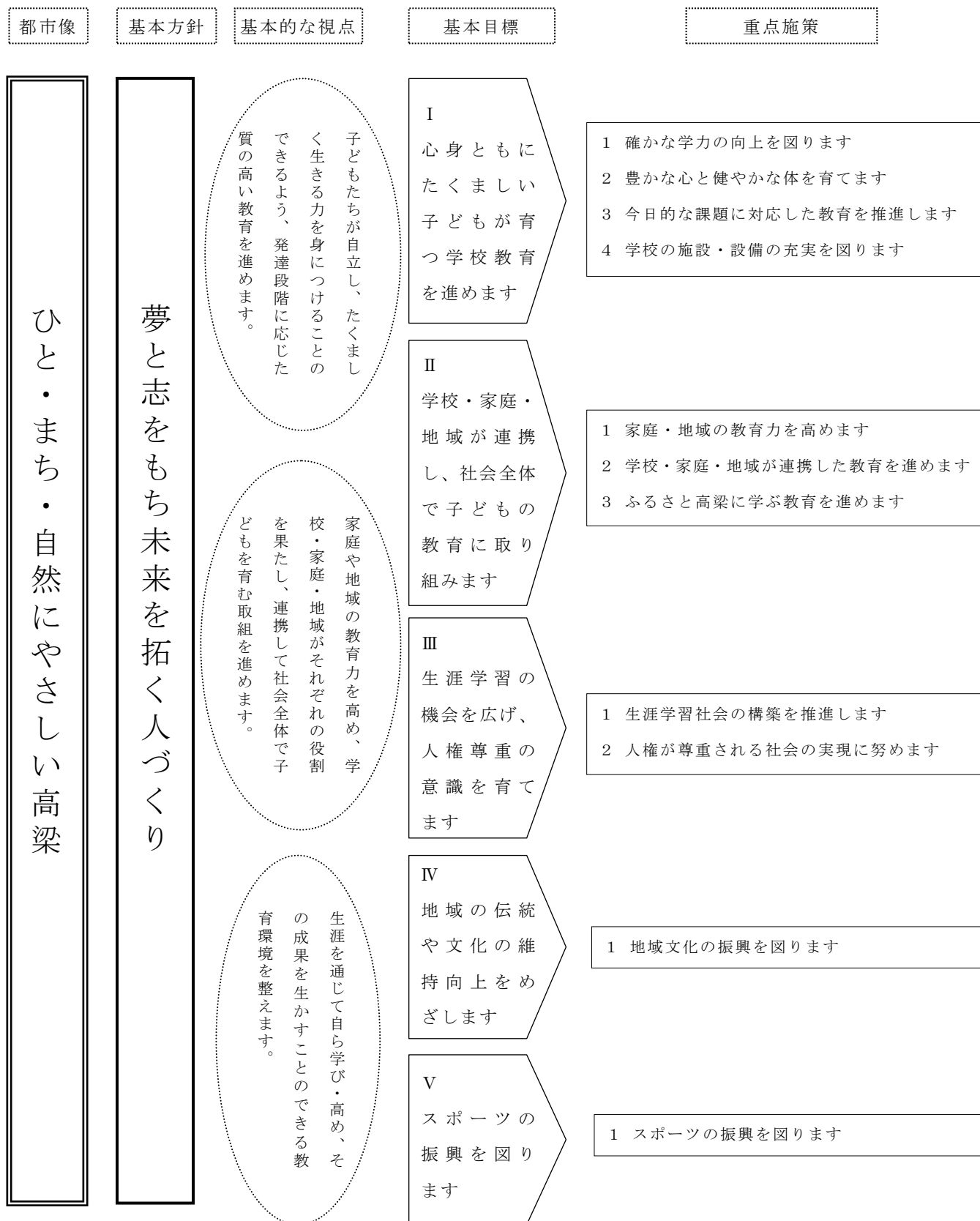
また、生涯にわたって主体的に学習できる生涯学習社会の実現をめざし、公民館活動の積極的な展開を図りながら、体系的・効果的な支援と推進を図ります。

文化行政では、備中松山城や吹屋伝建地域など、地域固有の歴史遺産や伝統文化の保護・保存とその活用を進めるとともに、地域の文化芸術活動の振興に取り組めます。

さらに学校教育の充実のため、学校・家庭・地域及び関係機関等との連携を密にしながら、教育環境と教育効果の向上をめざします。また、スポーツ振興計画を基に、いつでも・どこでも・気軽にスポーツができる環境の充実に努めます。

これらの諸施策の推進にあたっては、情報発信を積極的に行い、関係機関や教育団体などとの連携を一層緊密にし、広く市民の理解、協力を得ながら、教育行政推進のため積極的に取り組めます。

## 2 教育行政重点施策の体系



## 1 点検及び評価結果の構成

教育委員会では、毎年度教育行政の基本方針やその年度の重点的に取り組むべき施策として「教育行政重点施策」を定めています。この重点施策に基づき行っている事業を平成 23 年度に実施すべき事業目標と位置づけ、この実施状況について教育委員会が自ら点検・評価を行いました。

### ○点検評価結果表の項目について

「事業名」・・・「教育行政重点施策」に掲げている主な取組で実施した事業を記載しています。

「事業実施目標」・・・平成 23 年度に実施すべき事業の具体的な取組内容や目標を記載しています。

「評価」・・・事業実施目標に対して、取組の進捗状況等を踏まえ、客観的に A～E の 5 段階で内部評価を行いました。評価基準は次のとおりとしています。

A・・・十分な成果を得た

B・・・概ね満足な成果を得た

C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要

D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要

E・・・事業の中止、廃止

「成果・課題等」・・・平成 23 年度に実際に実施した事業の成果・課題等を記載しています。

「学識経験者の意見」・・・教育委員会が行った点検・評価の結果について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条第 2 項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する 3 名の方に意見等をいただきました。

## 2 点検及び評価の結果

| 基本目標                                      | 重点施策                      | 項目                           | 頁   |
|-------------------------------------------|---------------------------|------------------------------|-----|
| I<br>心身ともにたくましい子どもが育つ<br>学校教育を進めます        | 1<br>確かな学力の向上を図ります        | (1) 学力の向上をめざした取組             | 1 4 |
|                                           |                           | (2) 読書環境の整備・充実               | 1 5 |
|                                           |                           | (3) 教員の指導力向上の取組              | 1 6 |
|                                           |                           | (4) 新学習指導要領の円滑な実施            | 1 8 |
|                                           | 2<br>豊かな心と健やかな体を育てます      | (1) 体験活動・文化活動等の充実            | 1 8 |
|                                           |                           | (2) 基本的生活習慣の育成               | 2 0 |
|                                           |                           | (3) 道德教育の充実                  | 2 0 |
|                                           |                           | (4) 健康教育の推進                  | 2 1 |
|                                           |                           | (5) 学校体育と運動部活動の充実            | 2 2 |
|                                           | 3<br>今日的な課題に対応した教育を推進します  | (1) 特別支援教育の推進                | 2 3 |
|                                           |                           | (2) いじめ・不登校問題等への対応           | 2 3 |
|                                           |                           | (3) 教育体制の整備                  | 2 5 |
|                                           | 4<br>学校の施設・設備の充実を図ります     | (1) 学校施設の耐震化の推進              | 2 6 |
|                                           |                           | (2) 学校施設のバリアフリー化の推進          | 2 6 |
|                                           |                           | (3) 学校施設・設備の充実               | 2 7 |
|                                           | 学識経験者の意見                  |                              | 2 8 |
| II<br>学校・家庭・地域が連携し、社会全体で<br>子どもの教育に取り組めます | 1<br>家庭・地域の教育力を高めます       | (1) 地域ぐるみで子どもを育てる体制の構築       | 2 9 |
|                                           |                           | (2) 地域ぐるみの学校安全体制の推進          | 2 9 |
|                                           |                           | (3) 就学前教育の推進                 | 3 0 |
|                                           |                           | (4) 家庭教育に関する学習機会・情報の提供の充実    | 3 0 |
|                                           |                           | (5) 学校・家庭・地域の連携のためのネットワークづくり | 3 1 |
|                                           | 2<br>学校・家庭・地域が連携した教育を進めます | (1) 規範意識や豊かな感性等を身につける学習活動    | 3 2 |
|                                           |                           | (2) 地域の人材の活用                 | 3 3 |
|                                           |                           | (3) 世代間交流による学習機会の提供          | 3 4 |
|                                           |                           | (4) 学校・家庭・地域が連携した読書活動の推進     | 3 5 |
|                                           | 3<br>ふるさと高梁に学ぶ教育を進めます     | (1) 郷土への愛着と誇りを育む教育の推進        | 3 5 |
|                                           |                           | (2) 地域の資源と人材の活用              | 3 6 |
|                                           |                           | (3) 地域住民によるふるさと学習の推進         | 3 7 |
|                                           | 学識経験者の意見                  |                              | 3 7 |

| 基本目標                                 | 重点施策                        | 項目                   | 頁   |
|--------------------------------------|-----------------------------|----------------------|-----|
| Ⅲ<br>生涯学習の機会を<br>広げ、人権尊重の意<br>識を育てます | 1<br>生涯学習社会の構築を<br>推進します    | (1) 生涯学習の振興          | 3 8 |
|                                      |                             | (2) 公民館活動の充実         | 4 0 |
|                                      |                             | (3) 社会教育施設の充実        | 4 1 |
|                                      |                             | (4) 青少年の健全育成         | 4 2 |
|                                      | 2<br>人権が尊重される社会<br>の実現に努めます | (1) 人権が尊重される社会の実現    | 4 4 |
|                                      | 学識経験者の意見                    |                      | 4 5 |
| Ⅳ<br>地域の伝統や文化<br>の維持向上をめざ<br>します     | 1<br>地域文化の振興を図り<br>ます       | (1) 地域文化・芸術活動の振興     | 4 6 |
|                                      |                             | (2) 文化施設の充実          | 4 6 |
|                                      |                             | (3) 文化財の保護・保存と活用     | 4 8 |
|                                      |                             | (4) 歴史的町並み保存と景観形成の推進 | 5 0 |
|                                      | 学識経験者の意見                    |                      | 5 1 |
| Ⅴ<br>スポーツの振興を<br>図ります                | 1<br>スポーツの振興を図り<br>ます       | (1) スポーツの振興          | 5 2 |
|                                      |                             | (2) スポーツ施設の充実        | 5 5 |
|                                      |                             | (3) 広域的なスポーツ交流の推進    | 5 6 |
|                                      | 学識経験者の意見                    |                      | 5 9 |

## I 「心身ともにたくましい子どもが育つ学校教育を進めます」

### 1 確かな学力の向上を図ります

#### (1) 学力の向上をめざした取組

##### ○施策の方向

- ・学校での基礎学力の向上のための取組を学校と家庭とで連携して、一層充実したものにします。
- ・知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成を図る取組を充実させるとともに、課題解決的な学習や探究活動の一層の充実をめざします。
- ・児童生徒の基本的な生活習慣や学習習慣等の改善を図るとともに、学習環境の充実を図り、学力の定着をめざします。

| 事業名                            | 事業実施目標                                                                             | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                    |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学力向上に向けた高梁プランの計画と推進<br>【学校教育課】 | 高梁市の児童生徒の学力にかかわる現状と課題について検討し、児童生徒に身につけさせたい学力やその向上に向けた取組について協議するため、学力向上推進委員会を立ち上げる。 | B  | 学力向上推進委員会を立ち上げ、年度中2回開催した。<br><br>委員会では、児童生徒に対する取組、教員の資質向上に関すること、家庭・地域社会との連携に関することについて、提言をいただいた。<br><br>この提言を次年度以降の取組に反映させ、評価・改善していく必要がある。 |
| 基礎学力向上のための取組と推進<br>【学校教育課】     | 学力学習状況改善プラン(※1)を活用し、計画訪問並びに要請訪問等により、各校の取組を支援する。                                    | B  | プランを作成することにより、各校で目標と具体的な取組を明確にし、基礎学力向上に向けて取組を行った。                                                                                         |
|                                | 高梁市教育研修所と連携し、教員の研修を充実させる。                                                          | B  | 研修所の各部会で計画的に研修会を開催した。                                                                                                                     |
| 「読み、書き、計算」の定着のための取組<br>【学校教育課】 | 学習到達度確認テスト等を活用し、児童生徒の学力の定着状況の把握と指導法の工夫改善を図る。                                       | C  | 学習到達度確認テストの活用は推進できたが、さらに年間計画に位置づけて計画的に行う必要がある。                                                                                            |
|                                | 学力の基礎となる読む力や考える力を育てるため、朝読書、読み聞かせボランティア等の活用による読書活動を推進する。                            | B  | 朝読書、読み聞かせボランティアの活用に加えて、司書による読書活動の推進を図ることができた。                                                                                             |

(※1) 学力学習状況改善プラン…各校で学力・学習状況の改善に向けて取り組んでいる年次計画。

| 事業名                                      | 事業実施目標                                                              | 評価 | 成果・課題等                                                                                 |
|------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 各学校での効果的な取組の推進と実践発表<br>【学校教育課】           | 研究指定校や授業改革協力員などの授業公開、研究協議会を実施し、指導法の工夫改善を図る。                         | A  | 研究指定に伴い、各校で校内研修や研修授業（公開授業）を積極的に行い、授業改善に取り組むことができた。<br>また、授業改革協力員による公開授業により、小中連携が推進できた。 |
| 全国、岡山県学力・学習状況調査による実態を把握と結果の活用<br>【学校教育課】 | 学力・学習状況調査により、児童生徒の学力の実態を把握するとともに、結果を分析（H23～H24年度）し、活用（H25～H27年度）する。 | B  | 調査結果から強み、弱みを分析した。<br>また、新たに、中学校区での分析も行い、小中で実態の把握と指導法の工夫改善に関する情報を共有した。                  |
| 学力向上改善プランの推進<br>【学校教育課】                  | 児童生徒に身につけさせたい学力の目標や具体的な取組を明確化する。                                    | B  | 各校のプランから中学校区のプランを検討し、9年間を見通した取組について検討した。                                               |
| 基本的な生活習慣の育成に向けた取組<br>【学校教育課】             | 「早ね早おき朝ごはん」県民運動の取組を通じて、子どもの生活リズム向上をめざす。                             | B  | 強化週間等を設けて、子どもや保護者の意識が高まるよう取組を行った。                                                      |
| 家庭学習の充実とテレビの視聴時間の取組<br>【学校教育課】           | 学校から家庭学習についての情報発信を積極的に行う。                                           | B  | 各校で家庭学習の手引きを作成し、各家庭に配布した。今後はその活用について検証が必要である。                                          |

## （２）読書環境の整備・充実

### ○施策の方向

- ・学校は家庭、市立図書館、ボランティア、読書活動にかかわる関係団体等地域と連携し、子どもたちがよい本と出会える環境づくりに取り組むなど、読書活動の取組を推進します。
- ・授業に学校図書館を計画的に活用したり、全校一斉の読書活動を行ったりするなど、児童生徒の主体的、意欲的な読書活動を充実します。

| 事業名                                              | 事業実施目標                                                                      | 評価 | 成果・課題等                                                                                   |
|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「第２次高梁市子ども読書活動推進基本計画（高梁わくわく読書プラン）」の実施<br>【社会教育課】 | 平成22年度策定の『第２次子ども読書活動推進基本計画（高梁わくわく読書プラン）』に基づき、家庭・学校・地域と連携し、子どもの読書活動推進と啓発を行う。 | B  | 子ども読書推進講演会を1月14日に開催した。<br>また、読書ボランティアによる読み聞かせ会を小学校等で18回実施した。<br>その他、読書ボランティア育成講座を2回開催した。 |

| 事業名                                                      | 事業実施目標                                                                            | 評価 | 成果・課題等                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校図書館を活用した授業の充実<br>【学校教育課】                               | 学校教育振興基金の活用により、図書資料の整備・充実を図る。                                                     | B  | 図書購入費として、平成 23 年度予算 490 万円で図書を購入し、図書の充実を図ることができた。                                                                 |
|                                                          | 学校図書館司書の配置により、学校図書館の充実を図るとともに、子どもたちが進んで読書活動ができるよう支援する。<br>図書館司書を 9 名から 10 名に増員する。 | B  | 図書館司書配置の拡充ができ、計画的に各中学校区の小中学校で司書が勤務できるようになった。<br>このことにより、専門的な立場で読書環境の整備・読書指導が可能になった。<br>校区により司書が兼務する学校数や規模に違いが大きい。 |
|                                                          | 地域活性化・住民生活に光を注ぐ交付金事業（H22→H23 年度）の活用により、図書の整備・充実を図る。                               | A  | 市内の学校園における図書及び図書環境の充実を図ることができた。<br>小学校 7,992,970 円<br>中学校 1,999,289 円<br>高等学校 198,543 円<br>幼稚園 6,331,503 円        |
| 「セカンドブック事業」<br>「読書大すき高梁っ子感想文コンクール」等の読書啓発活動の推進<br>【学校教育課】 | 子どもたちの読書活動を推進するため、積極的な家庭への情報発信を行う。                                                | B  | 小学校入学を機に、本に親しむ機会をつくり読書に対する意欲関心を高めるためにセカンドブック事業を実施した。                                                              |
|                                                          | 学校図書館司書、読書ボランティアを積極的に活用し、読書環境を充実させる。                                              | B  | 司書による、本を手に取りやすいレイアウトの工夫や図書館だよりの発行、地域の読書ボランティアによる読み聞かせなどを実施した。                                                     |

### （３）教員の指導力向上の取組

#### ○施策の方向

- ・授業改革の核となる教員養成や研究指定校園を中心に、研究発表を通じて、研究成果を広め、全ての学校の授業力の向上を図ります。

| 事業名                              | 事業実施目標                                | 評価 | 成果・課題等                                                                                   |
|----------------------------------|---------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外部人材の積極的な活用による授業改革の推進<br>【学校教育課】 | 指導教諭・授業改革協力員を中心とする授業研究を通じた指導力の向上をめざす。 | B  | 指導教諭、授業改革協力員が公開授業を行い、研究協議を通して指導法の改善について協議することができた<br>研究協議のもちかた等を改善し、さらに充実したものにしていく必要がある。 |

| 事業名                                     | 事業実施目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外部人材の積極的な活用<br>による授業改革の推進<br>【学校教育課】    | 県教育センターサポートキャラバン、県指導課授業の匠事業を積極的に活用する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | B  | 積極的に活用することができた。<br>・サポートキャラバン 10回<br>・匠事業 17回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 研究指定校園における授業研究とその課題・成果の検証・普及<br>【学校教育課】 | 研究指定による授業研究を通じて、指導法の工夫改善を図るとともに子どもたちの学習意欲の向上を図る。<br>研究指定校園（H23年度）<br>・（県・市）道徳教育実践研究事業<br>[H23・H24年度] 《高梁幼稚園》<br>・（市）幼稚園教育課程研究<br>[H23・H24年度] 《有漢幼稚園》<br>・（市）ICT（※2）活用研究<br>[H23年度] 《高梁東中学校》<br>・（県・市）へき地複式教育研究<br>[H23・H24年度] 《西山小学校》<br>・（県・市）県高校定時制通信教育研究協議会『進路指導』<br>[H22・H23年度] 《宇治高校》<br>・（市）学力・人間力育成推進事業<br>[H23～H25年度]<br>《有漢中学校区》<br>・（その他）<br>理科支援員配置事業<br>《落合小学校》<br>食に関する指導研究<br>《富家小学校》<br>特別支援教育部会研究担当校<br>《高梁中学校》<br>県総合教育センター初任者研修授業公開<br>《成羽中学校》<br>交通安全子ども自転車大会岡山県大会<br>《川面小学校》 | B  | 研究指定に伴い、各校で校内研修や研修授業（公開授業）を積極的に行い、授業改善に取り組むことができた。<br>研究会指定校園には、要請訪問等により助言を行った。<br>また、大学教授等からの指導を受けた。<br>・道徳教育実践事業では、道徳的な視点を明確にした保育の実践に取り組んだ<br>・幼稚園教育課程研究では、幼児の育ちの過程に視点をあて、保育園との連携について研究実践を行った。<br>・学力・人間力推進事業は、大学教授を招聘し『教えて考えさせる』の理論を学び算数・数学を中心に実践し、1年次の成果と課題をまとめた。次年度は、教科を広げて取り組むこととする。<br>・へき地複式教育研究では、自ら学び響き合う子どもをめざしてという研究テーマのもと算数科を中心に研究に取り組んだ。<br>・理科支援配置事業により、実験・観察が効率よく行うことができた。<br>・食に関する指導研究では、食生活の改善に向けて意欲が向上した。<br>・特別支援教育部会研修会を、外部講師を招聘して開催した。 |

（※2） ICT…情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称。ICT教育とは、「情報技術を用いて学習者に対しコミュニケーション環境を提供しようとする教育」のこと。

#### (4) 新学習指導要領の円滑な実施

##### ○施策の方向

- ・新しい学習指導要領の円滑な実施ができるよう、取組を推進します。
- ・学習指導要領の改訂を踏まえ、小学校における外国語活動の充実を図ります。

| 事業名                             | 事業実施目標                                                | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                         |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 改訂の趣旨の周知、課題・成果の検証・普及<br>【学校教育課】 | 高梁市教育研修所での教科・領域別改訂の趣旨等の研修会を開催する。                      | B  | 研修所教科部会での研修会において、改訂の趣旨の周知を行った。                                                                                                                 |
| 研修会の充実による教員の資質能力の向上<br>【学校教育課】  | 教材開発やALTを積極的に活用し、児童生徒に国際理解の基礎を培い、英語によるコミュニケーション能力を培う。 | B  | 児童生徒は、ネイティブスピーカー(※3)のALTから外国語の音声や基本的な表現を学ぶことで、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験することができている。<br><br>特に小学校高学年では、導入された外国語活動を担任だけではなく、ALTの指導により効果的に進められている。 |
|                                 | 実践事例を各校へ普及させる。                                        | C  | 各校の実践事例を共有できる場の設定が必要である。                                                                                                                       |

## 2 豊かな心と健やかな体を育てます

### (1) 体験活動・文化活動等の充実

##### ○施策の方向

- ・豊かな人間性、社会性、規範意識等を育むため、地域の自然や人材を生かした多様な体験活動を推進します。
- ・伝統・文化をはじめ優れた文化に触れる機会の充実に努めます。

| 事業名                       | 事業実施目標                                              | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                             |
|---------------------------|-----------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特色ある学校づくり事業の推進<br>【学校教育課】 | 各学校が地域の人材・資源を活用し、その実態に応じた特色ある学校づくりのための事業内容を吟味し取り組む。 | B  | 各校・園が地域人材を活用し積極的な取組を展開している。<br><br>体験活動だけではなく、通常の学習活動での活用も図られてきた。<br><br>地域の方からも幼児・児童・生徒との交流を楽しみにしているという声がかかれ、双方にとって有効であり効果をあげている。 |

(※3) ネイティブスピーカー…ある言語を母国語として話す人。英語を母国語として話す人をALTとして各校に派遣している。

| 事業名                           | 事業実施目標                                                                                                                                                        | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特色ある学校づくり事業<br>の推進<br>【学校教育課】 | 15 万円の予算を全校園に分配し、<br>特色ある学校づくりに取り組む。<br>(平成 23 年度予算)<br>小学校・・・3,000,000 円(20 校)<br>中学校・・・1,050,000 円(7 校)<br>高等学校・・・300,000 円(2 校)<br>幼稚園・・・1,950,000 円(13 園) | C  | 各校園に分配されている 15 万円の予算は、主に幼稚園では野菜作り、小学校では田植え体験、中学校では伝統芸能の体験などを行うために、講師謝金や材料費等に充てている。<br>全校園において事業を実施したが、学校規模や取り組む内容によって、配分に傾斜をかける必要もあると思われる。<br>今後は、実績報告を検証しながら、予算の一律分配についてを課題とする。<br>(平成 23 年度実績)<br>小学校・・・2,346,418 円<br>中学校・・・ 928,313 円<br>高等学校・・・198,931 円<br>幼稚園・・・1,330,359 円 |
| 職場体験活動等の実施<br>【学校教育課】         | 中学生が地域の事業所で実際に仕事を体験することにより、正しい勤労観を養うとともに将来の自己の生き方について考える契機とすることを目的として実施している。実施日数や内容の充実させていく。                                                                  | B  | 多くの学校で受入れ事業所数や実施日数を増加し、内容も充実しつつある。                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 体験プログラムの実施<br>【学校教育課】         | 自然体験・生活体験活動等の実施を促進する。                                                                                                                                         | B  | 特色ある学校づくり事業を活用し、各校園で計画的に地域交流、ボランティア体験、自然体験等に取り組んでいる。                                                                                                                                                                                                                               |
| 芸術鑑賞推進事業の推進<br>【学校教育課】        | 学校において優れた音楽や演劇などの芸術・文化に触れる機会を提供し、子どもたちの豊かな情操を培うとともに豊かな感受性を養う。                                                                                                 | B  | プロによる演劇やコンサートなどを身近で鑑賞する感動的な体験ができている。                                                                                                                                                                                                                                               |

## (2) 基本的な生活習慣の育成

### ○施策の方向

- ・子どもの基本的な生活習慣の改善を図ります。

| 事業名                           | 事業実施目標                                 | 評価 | 成果・課題等                                                    |
|-------------------------------|----------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------|
| 基本的な生活習慣の育成に向けた取組<br>【学校教育課】  | 「早ね早おき朝ごはん」県民運動の取組を通じて子どもの生活リズム向上をめざす。 | B  | 県の「ぱっちり！モグモグ“ツーウィーク”」キャンペーンの活用を呼びかけるなどし、各校・園でも工夫した取組を行った。 |
| 「早ね・早おき・朝ごはん」運動の推進<br>【学校教育課】 | 保護者への啓発活動を行い、家庭との連携を図る。                | B  | 学校保健委員会やPTAの専門部会等と連携し、取組を推進した。                            |

## (3) 道徳教育の充実

### ○施策の方向

- ・就学前から高等学校段階までの発達段階に応じた心の教育の充実を図り、思いやりや命を大切にする心など、豊かな心を育成します。

| 事業名                                                                       | 事業実施目標                                               | 評価 | 成果・課題等                                        |
|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------|
| 「道徳教育推進教師」を中心とした全校的な指導体制の充実と家庭・地域等との連携体制の強化をするなどして徳育を推進する方策の検討<br>【学校教育課】 | 研究園（高梁幼稚園「道徳教育実践研究事業」）における指導内容等の研究とその課題・成果の検証・普及を行う。 | B  | 指導計画に道徳の視点を明確に位置づけ研究を進めている。                   |
|                                                                           | 道徳教育推進教師を中心とした教員研修を充実させる。                            | C  | 道徳教育推進教師を中心に全体計画等作成しているが、さらに計画的、継続的な研修が必要である。 |
| 体験活動等と関連させた道徳教育の充実<br>【学校教育課】                                             | 道徳教育の視点をもった体験活動を計画し、実践する。                            | B  | 外部人材の活用を積極的に行い、道徳教育の視点をもった体験活動を実施することができた。    |

## (4) 健康教育の推進

## ○施策の方向

- ・伝統的な食文化や地域の産物を生かした学校給食の充実を図るとともに、学校給食や家庭の食事を通して、児童生徒が正しい食事の摂り方や望ましい食習慣を身に付けられるよう、食育の推進に取り組みます。
- ・様々な健康課題に対応するため、学校保健指導、学校保健管理の充実を図るとともに、学校と家庭、関係機関が連携・協力して、組織的、計画的に健康教育の充実を図ります。

| 事業名                                                             | 事業実施目標                                                              | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 食に関する指導の推進<br>【学校教育課】                                           | 栄養教諭・学校栄養職員・担任との連携により、食に関する教育の充実を図り、研究会を開催する。<br>(食に関する指導研究《富家小学校》) | B  | 栄養教諭・学校栄養職員をゲストティーチャーとして迎え、子どもたちに効果的な指導を行い、市内の校・園に成果を広めることができた。                                                                                                    |
| 「高梁味めぐり」「子どもたちが考えた共通献立」など食に関心をもつ契機となる取組の充実<br>【学校教育課・各学校給食センター】 | 栄養教諭・学校栄養職員との連携のもと、子ども達が地産地消や食について学びを实践する契機とする。                     | B  | 栄養教諭・学校栄養職員による、食に関する指導を進めた。<br>「わたしたちが考えた給食献立」などの取組により、地元で生産される農産物を使った献立を考えるなど経験をさせながら指導を行うことにより、子どもたちが一層食に関心をもつことができた。<br>また、季節の行事食や郷土食の献立の際には、給食を生きた教材として活用している。 |
| 地産地消の推進<br>【各学校給食センター】                                          | 地産地消率の向上を目指し、学校給食センターと生産者を結ぶ、コーディネーターとしての産直市場との連携について検討する。          | B  | 生産者団体等関係機関と連携し、地元産の農産物をはじめとする県産農産物を積極的に活用した学校給食を提供することができた。新たに使用したものとしては、乾椎茸やテンペなどがある。<br>品目数での割合は、約49%(県目標値:47%)                                                  |
| 学校保健委員会の充実<br>【学校教育課】                                           | 関係機関との連携強化を図る。                                                      | B  | P T Aの専門部会等と連携し、取組を推進した。                                                                                                                                           |
| 薬物乱用防止教育等、今日の健康課題への指導の充実<br>【学校教育課】                             | 中学校・高等学校での薬物乱用防止教室を開催する。(年1回以上)                                     | A  | 全中・高等学校で年1回、小学校においても8校が実施し、専門的な知識を有する外部講師を活用することで効果的な指導ができた。                                                                                                       |

## (5) 学校体育と運動部活動の充実

### ○施策の方向

- ・体育・保健体育の学習の充実を図るとともに、体力・運動能力の向上と健康の増進を図ります。
- ・運動部活動の活性化を推進するとともに、指導者の指導力の向上と外部指導者の効果的な活用を図ります。

| 事業名                                  | 事業実施目標                                     | 評価 | 成果・課題等                                                         |
|--------------------------------------|--------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------|
| 新体力テストの全校実施等、各校での体力づくりの推進<br>【学校教育課】 | 各学校での体力づくりを推進する。                           | B  | 体育の授業以外でも水泳記録会や持久走大会、球技大会の実施などにより、体力づくりを推進した。                  |
|                                      | 新体力テストの結果を分析する。                            | B  | 各校や市内の状況をまとめ、課題の克服に努めた。                                        |
| 地域スポーツ人材の活用<br>【学校教育課】               | 小・中・高へ外部指導者を派遣し、指導力を向上させる。                 | B  | 県の事業を活用し、2中学校の部活動に地域の外部指導者を派遣し、適切な指導を行うことができた。                 |
| スポーツエキスパート事業の推進<br>【学校教育課】           | 部活動指導の充実のために中学校2校へスポーツエキスパート（外部指導者）を派遣する。  | B  | 2中学校へ外部指導者を派遣し、意欲や技術の向上を図ることができた。                              |
| 行事参加補助金や負担金の予算化<br>【学校教育課】           | 運動部を活性化させるため、公式試合や文化部の大会出場等への交通経費の一部を補助する。 | B  | 生徒1人あたり2,800円を生徒の体育・文化関係事業参加に関わる補助金として予算化しており、高梁市中学校長会へ交付している。 |

### 3 今日的な課題に対応した教育を推進します

#### (1) 特別支援教育の推進

##### ○施策の方向

- ・校内体制を整え、「個別の教育支援計画」に基づき一人一人に応じた適切な指導を充実させます。

| 事業名                              | 事業実施目標                                                                                      | 評価 | 成果・課題等                                                  |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------|
| 学校・園の支援体制整備と他機関との連携推進<br>【学校教育課】 | 保健所・子ども課・健康づくり課等との情報交換会を実施し、就学への支援を行う。                                                      | B  | すべての幼稚園・保育園で計画的に実施することができた。                             |
|                                  | 特別支援学校の巡回相談を活用し、適切な支援を行う。                                                                   | B  | 継続的に巡回相談を活用することで子どもの状況を把握することができた。                      |
| 特別支援教育支援員配置事業の推進<br>【学校教育課】      | 個別に特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対応するため、特別支援教育支援員(※4)を配置する。                                           | B  | 支援が必要な子どもが在籍する幼・小・中に18人の支援員を配置した。                       |
|                                  | 特別支援教育支援員の資質向上をめざした研修会を開催し、学習活動の支援や自立に向けた指導の充実に繋げる。                                         | B  | 研修会を開催し、障害の理解と対応について研修し、資質の向上を目指した。個別のケースについての研修が必要である。 |
| 特別支援教育推進事業における巡回相談の充実<br>【学校教育課】 | 発達障害についての専門家を学校園に派遣するもので、LD(※5)、ADHD(※6)、自閉症等の幼児・児童・生徒に対し、定期的な巡回相談等を実施することにより、継続した適切な支援を行う。 | C  | 定期的に巡回相談を活用できるよう事業の周知を行う必要がある。                          |

#### (2) いじめ・不登校問題等への対応

##### ○施策の方向

- ・学校と家庭・地域が生徒指導における連携・協力を強化し、地域ぐるみで子どもの規範意識を高め、いじめや不登校への対応に取り組む体制を推進します。

(※4)特別支援教育支援員…教育上特別な支援が必要な児童・生徒の日常生活の介助や学習活動のサポートを行う職員。

(※5)LD…「Learning Disabilities(学習障害)」の略。基本的には知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指す。

(※6)ADHD…「Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder(注意欠陥/多動性障害)」の略。年齢あるいは発達に釣り合いの注力または、衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

| 事業名                                | 事業実施目標                                                              | 評価 | 成果・課題等                                                    |
|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------|
| 「学校問題解決支援チーム」の結成と有効活用<br>【学校教育課】   | スクールソーシャルワーカー(※7)・スクールカウンセラー(※8)・スクールサポーター(※9)を活用し、いじめや不登校の問題解決を図る。 | B  | 専門的な見地から適切な支援を受けることができ、課題の解決への一助となった。                     |
| 教育相談体制の充実<br>【学校教育課】               | 臨床心理士等の専門家に相談できる機会を充実させる。                                           | B  | ふれあい促進事業や特別支援教育推進事業の活用を各学校・園に勧めた。                         |
|                                    | 学校内外の相談体制を整備する。                                                     | B  | 教育相談週間の取組や各種相談事業の実施により対応した。                               |
|                                    | 定期的な児童生徒へのアンケート調査等により未然防止や早期発見・対応に努める。                              | B  | 特に期間を設けてアンケートや面談などを実施するとともに、普段の様子などからも把握するよう努めた。          |
| 適応指導教室における児童生徒への支援と相談活動<br>【学校教育課】 | 個々に応じた補充学習、体験活動を計画・推進し、学校復帰に向けた支援を行う。                               | A  | 個々の児童生徒の学習内容の定着状況により、教材を工夫した。野外での体験活動等にも取り組んだ。            |
|                                    | 他機関との連携による相談活動を充実させる。                                               | A  | 県総合教育センターや医療機関など在籍児童生徒の通う他機関との連携を図った。                     |
| 問題を抱える子ども等の自立支援事業の推進<br>【学校教育課】    | 不登校の児童生徒に対する適切な支援のあり方を研究する。                                         | A  | 家庭訪問や相談電話及び来室による相談等により多くの事例に対応した。                         |
| 学校ふれあい促進事業の推進<br>【学校教育課】           | 学校園へカウンセラーを派遣し、不登校等の諸問題の解決を図る。                                      | C  | 派遣の要望には全て対応でき、内容も充実したが、要望する学校に偏りがあるため、研修での活用なども周知する必要がある。 |
| スクールサポーター配置事業の推進<br>【学校教育課】        | スクールサポーターと適応指導教室との連携推進を図り、児童生徒の心の安定や問題行動の未然防止や解決を目指す。               | A  | 適応指導教室、教育支援ネットワーク室と情報交換、共通理解を図りながら適切な支援ができた。              |

(※7)スクールソーシャルワーカー…学校を拠点に、不登校や家庭内暴力など子どもが抱える問題に対し、主に福祉的な視点から解決を図る人。学校と家庭、地域の橋渡しをし、行政や病院など外部機関同士のつなぎ役を果たすこともある。

(※8)スクールカウンセラー…心理学知識や心理援助知識などの高度な専門的知識を有し、不登校や、校内・学内での種々の問題行動などに対応する心理職の専門家。

(※9)スクールサポーター…いじめや不登校など、生徒指導上の課題を抱える子どもたちの身近な話し相手、授業中の構内巡回指導など生徒指導のサポートをする職員。

## (3) 教育体制の整備

## ○施策の方向

- ・今後の幼児・児童・生徒数の推移を踏まえ、子どもたちの能力を最大限に伸ばすことができる学級・学校規模を考慮し適切な学校配置を進めます。
- ・学校給食において、食育の充実を図るとともに学校給食センターの再編と施設充実を図ります。

| 事業名                                                          | 事業実施目標                                                 | 評価 | 成果・課題等                                                                |
|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------|
| 小規模校再編事業の推進<br>【学校教育課】                                       | 児童生徒数の推移を考慮し、全校1・2クラスの小規模校については、地域住民の合意を形成しながら再編に取り組む。 | B  | 湯野小学校、平川小学校の閉校に向けて協議を行い、平成25年度に富家小学校へ統合することの合意を得た。                    |
|                                                              | 23年度末に、布寄小・吹屋小学校の閉校式を挙行する。                             | B  | 平成24年3月20日に吹屋小学校、3月24日に布寄小学校の閉校式を挙行した。                                |
| 幼稚園と保育園の連携強化と就学前教育の在り方の検討<br>【学校教育課】                         | 幼保一体化施設設置に向けた試行を実施し、本市の実態によりふさわしい就学前教育のあり方を研究する。       | C  | 有漢幼稚園・有漢保育園において連携を進めている。                                              |
| 高梁市立学校給食センター運営委員会（仮称）及び学校給食専門委員会（仮称）の設置<br>【学校教育課・各学校給食センター】 | 各学校給食センターの運営委員会の上部組織の設置による学校給食を推進する。                   | C  | 学校給食に関する諸施策の推進や市内4センターに設置されている運営委員会の連携強化を図るため、上部組織の設置に向けた検討を行った。      |
|                                                              | 給食献立を複数の者で計画・立案し、統一献立を早急に実施できる組織を設置する。                 | C  | 献立を統一することで、食育に関し同じ指導が行えるとともに、公平なサービスの提供につながることから、実施に向け組織の運営の在り方を検討した。 |
| 食に関する指導の充実と地産地消の推進<br>【学校教育課】                                | 栄養教諭・学校栄養職員の参加による食育を推進する。（授業実践）                        | B  | 研究指定校において栄養教諭・学校栄養職員と担任による食育の授業を行い、食生活の改善への意識を向上することができた。             |
| 高梁市立学校給食センター再編事業の推進<br>【高梁・有漢学校給食センター】                       | センター再編に伴う安心・安全な給食提供の条件整備を行う。                           | B  | センター再編に向け、高梁学校給食センター及び有漢学校給食センターの増改築工事や衛生管理に配慮した厨房機器等の設備整備を行った。       |

## 4 学校の施設・設備の充実を図ります

### (1) 学校施設の耐震化の推進

○施策の方向

- ・子どもたちが安心して生活できる校舎や屋内運動場等の耐震補強工事を行います。

| 事業名                               | 事業実施目標                                                                                                                                                            | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校等の耐震診断・耐震補強工事の計画的な実施<br>【学校教育課】 | <p>市内学校園の校舎、園舎及び屋内運動場のうち、耐震性の劣る施設について、安全性を確保するため耐震補強の設計及び施工を行う。</p> <p>文部科学省では、公立学校施設の耐震化を平成 27 年度末までのできるだけ早い時期に完了させる目標を打ち出しており、本市においても平成 27 年度末までの完了を目指している。</p> | A  | <p>津川小学校屋内運動場、宇治小学校屋内運動場及び落合幼稚園園舎の耐震補強工事は完了した。</p> <p>また、川面小学校校舎、成羽中学校屋内運動場の耐震補強実施設計も完了し、耐震化事業を計画的に行うことができた。</p> <p>(平成 23 年度実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津川小学校屋内運動場耐震補強工事</li> <li>・宇治小学校屋内運動場耐震補強工事</li> <li>・落合幼稚園園舎耐震補強工事</li> <li>・川面小学校校舎耐震補強実施設計</li> <li>・成羽中学校屋内運動場耐震補強実施設計</li> </ul> |

### (2) 学校施設のバリアフリー化の推進

○施策の方向

- ・災害時には、避難所となる屋内運動場等のバリアフリー工事を行います。

| 事業名                       | 事業実施目標                                                       | 評価 | 成果・課題等                                                                                           |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安心安全な施設整備事業の推進<br>【学校教育課】 | <p>全学校園を対象に門扉の改修やフェンスの設置及び強化ガラスへの改修を行い、より安心安全な施設環境整備を行う。</p> | A  | <p>玉川小学校に門扉、川面小学校にフェンスを設置するとともに、高梁東・有漢・備中中学校において強化ガラス改修を行った。</p> <p>今後も計画的な施設改修を引き続き行う必要がある。</p> |
| バリアフリー化、UD化の実施<br>【学校教育課】 | <p>災害時避難所となる学校園を中心にスロープの設置を行い、誰もが安全に使用することができる施設整備を行う。</p>   | A  | <p>川上小学校、高梁幼稚園にスロープの設置を行った。今後も計画的な施設改修を引き続き行う必要がある。</p>                                          |

## (3) 学校施設・設備の充実

## ○施策の方向

- ・老朽化や改修が必要な施設・設備の整備を進めます。
- ・ICT機器の充実と教育情報システムの整備を積極的に推進し、情報教育の充実を図ります。
- ・園庭の一部芝生化を整備します。

| 事業名                     | 事業実施目標                                                                            | 評価 | 成果・課題等                                                                                                              |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| プールの改修<br>【学校教育課】       | 快適なプール学習のため、市内小学校のプールについて、塗装や配管及び機械設備の改修を計画的に行う。                                  | A  | 成羽小学校のプール塗装改修及び配管改修を行った。今後も計画的な施設改修を引き続き行う必要がある。                                                                    |
| 洋式トイレの増設<br>【学校教育課】     | トイレ環境を改善するため、市内学校園の校舎(園舎)、屋内運動場の児童・生徒用トイレについて、各階毎に男女各1箇所ずつ順次洋式トイレに改修する。(H23～27年度) | A  | 宇治・福地小学校、高梁・巨瀬幼稚園及び成羽中学校の屋内運動場で洋式トイレの改修を行った。<br>今後も計画的な施設改修を引き続き行う必要がある。                                            |
| 公立学校施設環境美化事業<br>【学校教育課】 | 公立学校施設環境美化事業を実施する。(H23年度)                                                         | A  | 市内学校園の草刈り・庭木剪定等を行い校内環境美化が図られた。<br>しかし、本事業は平成23年度で終了となったが、実施要望が強く出されており、実施を引き続き検討していく必要がある。                          |
| ICT整備事業の推進<br>【学校教育課】   | 教育用パソコンを更新する。(H25～26年度)                                                           | B  | 平成20年度以降、教員1人1台のパソコンの配備を行い学校統合ネットワークが整備された。<br>今後は勤務形態の多様化に対応するため支援員・図書館司書等へ整備していくとともに、ネットワーク環境に対応した機器への更新を行う必要がある。 |
|                         | 公立学校情報環境整備事業を実施する。(H23年度)                                                         | A  | 市内学校園の校内ネットワーク・ICT授業環境整備等を行い、情報環境のメンテナンスなどを行った。<br>本事業は平成23年度で終了したため、今後引き続き体制整備やセキュリティ対策などを行っていく必要がある               |

| 事業名                         | 事業実施目標         | 評価 | 成果・課題等                                                                                      |
|-----------------------------|----------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 園庭の一部を芝生化に推進<br><br>【学校教育課】 | 津川幼稚園園庭芝生化を行う。 | A  | 津川幼稚園園庭において一部芝生化事業を市内では初めてとなる取組を行った。<br><br>今後維持管理を実施するとともに、芝生化に関するメリット・デメリット等を検証していく必要がある。 |

## I 学識経験者の意見

- 平成 23 年 3 月に教育振興基本計画が策定されたことや、昨年度の点検評価における意見が尊重されたことにより、5 つの重点目標がより具体化され、それに基づいた教育活動が行われつつある。確かな学力の向上を図る取組についての評価も、昨年度と比較して向上している。今後は、課題となっている「読み、書き、計算」や、「家庭学習の手引き」の活用を計画的に位置付けて、学力向上推進委員とも連携し、さらに向上させていくよう期待する。
- 学力向上に向け、教科書をはじめいろいろな面で新しいものに挑戦してみようという意識をもち、子どもたちにもいろいろなことを挑戦させるという取組が必要である。
- 学力向上推進委員会の開催は年 2 回であるが、始めと終わりだけではなく途中の働きかけをすることが必要である。そうすることによって、一番大切な PDCA サイクルの Do の部分である実践の内容がより明確になり結果につながる。
- セカンドブック事業等、読書環境の整備・充実を図り、国語科の学力の面でも一定の効果が得られている。
- 研究指定において、幼稚園教育課程研究では、子どもの育ちに視点をあてた保育園と幼稚園の連携ということで研究を進めている。また、学力・人間力育成推進事業では、大学教授から「教えて考えさせる」授業を学ぶなど、この他にも様々な角度から研究を通じて授業改善に取り組まれている。今後は、さらに研究を深めていくとともに、その成果と課題は、指定を受けているひとつの校園だけでなく、他の校園へ広げていくことが必要である。
- 支援員の配置要請に伴い、支援員の数も増員され、各機関と連携を図りながら支援が行われている。今後も支援員の研修等で、個々の子どもたちの支援をさらに進めていただきたい。
- 校内環境美化については、各校園からの実施要望が多い中、PTA や地域の方々の協力のもと実施している現状がある。公立学校施設環境部美化事業が 23 年度で終了し、予算面において本来の PTA 会計の趣旨が活かされるよう、教育委員会と学校園とが連携をとって取り組むことが必要である。
- いじめ問題は、いつでもどこでも起こりうるという前提のもとに、危機管理意識をもって対処していかなければならない。定期的な調査や個人懇談、グループ懇談等を通して人間関係を理解するよう、各学校園に指導する必要がある。

## Ⅱ 「学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもの教育に取り組めます」

### 1 家庭・地域の教育力を高めます

#### (1) 地域ぐるみで子どもを育てる体制の構築

##### ○施策の方向

- ・各公民館の人的ネットワークを活用したボランティアによる学校の側面的支援を推進します。

| 事業名                        | 事業実施目標                                                                                                                                                                                                                                       | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「学校支援地域本部事業」の推進<br>【社会教育課】 | <p>地域住民による学校支援ボランティア活動を活性化するため、各公民館に地域コーディネーターを配置し、地域による学校支援ボランティア体制を構築する。(国庫間接事業)</p> <p>本年度5小学校(昨年度より2小学校区増)で実施を計画する。</p> <p>①川面小学校区 H23 年度～継続<br/>②巨瀬小学校区 H20 年度～継続<br/>③落合小学校区 H22 年度～継続<br/>④福地小学校区 H22 年度～継続<br/>⑤川上小学校区 H23 年度～継続</p> | A  | <p>計画の5小学校区(継続3小学校区、新規2小学校区)において、学校支援地域本部事業を実施した。</p> <p>継続小学校においては、昨年度より支援種目も増え、年間を通して継続的支援ができた。新規については、ボランティア体制の構築に時間をかけ、支援実績自体は多くないものの、地域性を活かした支援を行った。</p> <p>今後の市全体への拡充が課題である。</p> |

#### (2) 地域ぐるみの学校安全体制の推進

##### ○施策の方向

- ・子どもたちが安全に安心して教育が受けられるよう、学校や通学路における安全確保を図ります。

| 事業名                           | 事業実施目標                                         | 評価 | 成果・課題等                                |
|-------------------------------|------------------------------------------------|----|---------------------------------------|
| 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業<br>【学校教育課】 | よりよい防犯活動を行うために、防犯の専門家であるスクールガードリーダー(※10)を活用する。 | A  | 小・中学校へ延べ141回の巡回指導を行い、学校への効果的な支援ができた。  |
|                               | 子どもたちが安心して通学できるよう、地域ボランティアと連携する。               | B  | 地域の安全パトロール隊やボランティアにより、登下校時の安全確保が図られた。 |

(※10)スクールガードリーダー…学校防犯に関わる保護者や地域の方々、学校に対してより良い防犯活動を行うための指導・援助・評価を専門の立場で行う人。防犯の専門家(警察官OB、民間警備会社等)。

| 事業名                      | 事業実施目標                                     | 評価 | 成果・課題等                                         |
|--------------------------|--------------------------------------------|----|------------------------------------------------|
| 実践的な安全教育の充実<br>【学校教育課】   | 避難訓練・登下校指導・不審者対応の研修を充実させ、子どもたちの危機管理能力を高める。 | B  | 警察のスクールサポーターやスクールガードリーダーにより実践的な研修が行われ、効果的であった。 |
|                          | 有事に備え、危機管理マニュアルの作成・活用を行う。                  | B  | 各校園において、特に災害時の場合のマニュアルの見直しを行い、充実したものとなった。      |
| 「通学路安全マップ」の作成<br>【学校教育課】 | 子どもたちが安全に通学できるよう、安全マップの作成と見直しを行う。          | C  | 安全マップの作成率は１００％であるが、毎年の見直しは実施できていない学校もある。       |

### （３）就学前教育の推進

○施策の方向

- ・地域の実態等にあわせて、保育園、幼稚園の連携を図り、市民のニーズや地域の特性に応じた就学前教育のあり方を検討します。

| 事業名                    | 事業実施目標                     | 評価 | 成果・課題等                                                         |
|------------------------|----------------------------|----|----------------------------------------------------------------|
| 保・幼・小の連携の推進<br>【学校教育課】 | 保・幼・小の連携を通じて地域の子育て機能を強化する。 | B  | 地域の実態に合わせてなめらかに小学校につながるができるよう、幼児の交流や行事を一緒にすることで保育園・幼稚園の連携を図った。 |

### （４）家庭教育に関する学習機会・情報の提供の充実

○施策の方向

- ・子どもの年代に応じた家庭教育や子育てに悩む保護者の支援を推進します。

| 事業名                                                     | 事業実施目標                                                                     | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域子育て創生事業<br>生涯学習支援事業<br>（子育て応援講座や乳幼児学級等の実施）<br>【社会教育課】 | 子育てに関する様々な知識を深め、親子で楽しく成長していくため、親子の健康に関する講座（ママのためのピラティス教室・親子ふれあい健康教室）を実施する。 | B  | 子育てで日ごろ疲れた体と心をリセットするとともに、体のバランスを整えるママのためのピラティス教室（３回 32名参加）を開催した。<br><br>また、親子でスキンシップしながら体を動かす親子ふれあい健康教室（３回 64名参加）を開催した。<br><br>参加者にはリピーターも多く、受講生が地域で独自の研修会をするなどの事例もあった。今後は、新規の受講生が集まるよう広報にも工夫が必要である。 |

| 事業名                                                     | 事業実施目標                                                                   | 評価 | 成果・課題等                                                                                             |
|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域子育て創生事業<br>生涯学習支援事業<br>（子育て応援講座や乳幼児学級等の実施）<br>【社会教育課】 | 近頃では馴染みのないわらべ歌を学ぶ機会や、本の読み聞かせなどの講座内容の乳幼児学級を開催し、学びながら同じ年頃の子どもをもつ親同士の交流を図る。 | B  | 乳幼児学級においてわらべ歌や読み聞かせの教室を開催した。<br><br>親子のスキンシップを図るとともに、家庭だけではできない新たな体験を通じて保護者同士、子ども同士の交流を提供することができた。 |

#### （５）学校・家庭・地域の連携のためのネットワークづくり

○施策の方向

- ・PTAをはじめ読書ボランティア等子育てに関わる者が一堂に会し、研修を深め、ネットワークの構築を図ります。

| 事業名                                        | 事業実施目標                                                                                                             | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生涯学習支援事業<br>（子育てふれあいフェスティバルの実施）<br>【社会教育課】 | 教育講演会、体験活動ボランティアグループによる体験コーナー、読書ボランティアによるお話会や展示紹介コーナーなど子育てに関わる有志や団体が集い、子育て支援の啓発、ネットワークの形成のため「子育てふれあいフェスティバル」を開催する。 | B  | ８月６日（土）市PTA連合会教育講演会との共催事業として開催し、公設国際大学校講師により東日本大震災の災害ボランティアの経験・防災意識の再認識・地域社会による支援体制の構築などについて講演を行った。<br><br>また体験活動による経験や発見、読書へ触れる機会づくりなど子どもたちの学習機会の提供を行い、来場者４００名により子育て支援の意識啓発ができた。 |

## 2 学校・家庭・地域が連携した教育を進めます

### (1) 規範意識や豊かな感性等を身につける学習活動

○施策の方向

- ・様々な体験活動を通じて豊かな人間性、社会性、規範意識を育む事業を推進します。

| 事業名                                            | 事業実施目標                                                                                                        | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域子育て創生事業<br>（広がる子どもの夢事業の推進）<br><b>【社会教育課】</b> | プロスポーツ施設の見学や最先端科学技術の体験など本物に触れ、普段できない体験を通じ子ども達の心に感動や目に見えない大切なものを見つけてもらうことを目的として事業を行う。                          | A  | 普段見ることができないプロの施設や最先端技術の話・体験・見学を通じて子どもや親子に心へのアプローチを行った。<br><b>【宇宙科学展】</b><br>・宇宙の不思議を探ろうツアー<br>(2/4/31名)<br>・親子で学ぼう！宇宙の科学講演会<br>(2/4/約80名)<br>・宇宙科学展 展示(2/4～2/12/622名)<br>・宇宙飛行士の講演会を聞いてみようツアー<br>(2/9/25名)<br><b>【子ども歴史文化講座】</b><br>・江戸時代の高梁にタイムスリップしようツアー<br>(11/12/15名)<br>・見て・あそんで・知ろう♪吹屋のまち体験ツアー<br>(3/11/12名)<br><b>【星をつかもう天体観測ツアー】</b><br>(3/3/92名)<br><b>【甲子園球場へ行こう！】</b> (8/30/28名)<br><b>【普段見られない裏側体験ツアー】</b><br>(1/6/20名) |
| 放課後子ども教室推進事業<br><b>【社会教育課】</b>                 | 放課後や週末に、安全・安心な居場所を設け、勉強や文化体験等の活動を通じて、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境を整備する。<br>・うかん風の子放課後子ども教室（継続）<br>年間20日でスポーツ・文化体験他を実施 | B  | 4教室でそれぞれ体験活動や学習支援を行った。参加者・保護者から好評を得ており、総合的な放課後対策の視点から学童保育との連携をさらに深めていく必要がある。<br>・うかん風の子放課後子ども教室<br>(20回延べ359名)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

| 事業名                                 | 事業実施目標                                                                                                                                                                                                 | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 放課後子ども教室推進事業<br>【社会教育課】             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・なりわ子ども教室（継続）<br/>年間 30 日で学習やスポーツ活動他を実施</li> <li>・かわかみ放課後子ども教室（継続）<br/>年間 20 日で学習や工作、昔遊びなどを実施</li> <li>・びっちゅう放課後子ども教室（継続）<br/>年間 10 日で自然体験やスポーツ体験を実施</li> </ul> | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・なりわ子ども教室<br/>(29 回延べ 251 名)</li> <li>・かわかみ放課後子ども教室<br/>(15 回延べ 297 名)</li> <li>・びっちゅう放課後子ども教室<br/>(7 回延べ 102 名)</li> </ul> |
| 青少年支援育成事業<br>(少年団体の活動支援)<br>【社会教育課】 | 青少年の育成に努める少年団の運営支援の促進を図るため活動補助金を交付する。                                                                                                                                                                  | B  | 高梁市に本拠地のある少年団（４団体）に対し活動の助成を行った。                                                                                                                                    |
|                                     | 福祉団体や都市部のスポーツ団体との交流事業について活動の助成を行う。                                                                                                                                                                     | B  | 平川スポーツ少年団が行う福祉団体との交流事業に対し活動助成を行った。                                                                                                                                 |

## （２）地域の人材の活用

### ○施策の方向

- ・学習成果を地域社会で共有化するため、「学びの輪」「学びの循環」をつくり、地域の教育力向上に取り組めます。

| 事業名                                                                                  | 事業実施目標                            | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域子育て創生事業<br>公民館運営管理事業<br>学校支援地域本部事業<br>(学校支援地域本部事業や子育て支援講座などにおける地域人材の活用)<br>【社会教育課】 | 地域の方を講師に地域の食材を使った地域に伝わる料理教室を開催する。 | B  | <p>各公民館単位で、地域の方を講師に伝統料理教室を開催した。</p> <p>(14 公民館 367 名参加)</p> <p>公民館で開催することにより、地域での人と人とのつながりが生まれた。</p> <p>また、料理に伴う広く生活・文化等についても学ぶことができ、まさに『学びの循環』が出来ていると感じられた。</p> |

| 事業名                                                                                             | 事業実施目標                                                                         | 評価 | 成果・課題等                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域子育て創生事業<br>公民館運営管理事業<br>学校支援地域本部事業<br>（学校支援地域本部事業<br>や子育て支援講座などにおける地域人材の活用）<br><b>【社会教育課】</b> | 公民館講座において、地域の方が講師となりお飾り教室を開催する。                                                | B  | 公民館において、子どもから大人まで学ぶことができるお飾り教室を、講師に地域の人材を活用して開催した。<br>今後も、人から人へ伝統文化を受け継ぐ一つの講座として開催していく必要がある。 |
|                                                                                                 | 市内５小学校区において学校支援地域本部事業を実施し、学校運営の支援をはじめ、地域性を活かした社会学習や伝統文化継承など地域住民ボランティアによる支援を行う。 | A  | 地域人材を活かし、読み聞かせ・家庭科支援（落合）や、地域性を活かした昔遊びの伝承や地域学習、祇園踊り・篠笛指導（巨瀬）などを行い、地域人材による学校支援ボランティアを行った。      |

### （３）世代間交流による学習機会の提供

#### ○施策の方向

- ・異年齢の子ども同士や大人との関わりの中で生まれてくる倫理観や社会性を身に付けることに取り組みます。

| 事業名                                                    | 事業実施目標                                                        | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公民館運営管理事業<br>生涯学習支援事業<br>（公民館活動での取組）<br><b>【社会教育課】</b> | 公民館活動において、三世代グラウンドゴルフ大会やおもちつき・とんど焼きなどの三世代交流事業を実施する。           | B  | 地域の子ども達と高齢者とが触れ合いながら学ぶ場として、三世代交流グラウンドゴルフ大会やおもちつき・とんど焼きなどを公民館において開催した。<br>子どもの数が減少している中、高齢者にとっても、子どもにとっても地域での交流の機会を継続していく必要がある。 |
|                                                        | 核家族化の進む中で高齢者との関係が減少しているため、乳幼児学級と高齢者学級との交流の機会を設け、三世代交流体験を実施する。 | B  | 乳幼児学級と高齢者学級とで昔遊びを一緒に行った。<br>子ども達は高齢者の技に驚いたり、懷いて抱っこしてもらったまま寝付いたり、また、高齢者は乳幼児のかわいさに目を細め、参加者からは気分が若返ったとの声も聞かれ、お互いに実のある交流ができた。      |

#### （４）学校・家庭・地域が連携した読書活動の推進

○施策の方向

- ・市長部局と連携し、読み聞かせに関わる研修会を開催し、ボランティアのスキルアップとネットワークの構築を図ることを推進します。

| 事業名                                              | 事業実施目標                            | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                             |
|--------------------------------------------------|-----------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読書ボランティア養成事業<br>(読み聞かせボランティアの養成講座の実施)<br>【社会教育課】 | 健康づくり課と連携し、ブックスタートボランティア研修会を実施する。 | B  | 子育て支援の一環として健康づくり課と連携し図書読み聞かせボランティアのスキルアップとボランティア相互の交流を目的にボランティア養成講座を開催した。(50名参加)<br><br>中央図書館において読書ボランティア養成を行っていることから、事業の統合も必要である。 |

### 3 ふるさと高梁に学ぶ教育を進めます

#### （１）郷土への愛着と誇りを育む教育の推進

○施策の方向

- ・学校での教科や総合的な学習の時間等において、高梁や各地域の自然や産業、歴史や伝統、民族や文化、人物など、地域の特長を生かした学習に積極的に取り組み、子どもたちがふるさと高梁を大切にする心を育みます。
- ・市内の地域資源や各種の体験活動を通じて郷土に対する愛着と誇りを育む教育を推進します。

| 事業名                       | 事業実施目標                                    | 評価 | 成果・課題等                                          |
|---------------------------|-------------------------------------------|----|-------------------------------------------------|
| 特色ある学校づくり事業の推進<br>【学校教育課】 | 地域の人材・資源を活用し、特色ある学校づくりの計画的な推進を図る。         | B  | 学校支援地域本部事業や老人クラブ、読み聞かせボランティアなど外部人材の活用が積極的に図られた。 |
|                           | 総合的な学習の時間における発達段階に応じた地域学習、伝統・文化・歴史の学習を行う。 | B  | 地域の特産品や史跡を調べるなどし、郷土に愛着をもつ児童生徒の育成が図られた。          |

| 事業名                                   | 事業実施目標                                                       | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生涯学習支援事業<br>（高梁魅力再発見事業の実施）<br>【社会教育課】 | 市内の児童が、郷土への愛着・理解を深めることを目的に、児童４０名を募集し、夏休み期間中に市内学習スポットを２日間で巡る。 | B  | 「高梁すきすき探検隊 2011」と題し、吉備国際大学と連携し、学生ボランティアスタッフの協力で、市史跡・観光スポットを２日間で巡った。<br><br>見学・体験を通じ、児童にとっては「ふるさと高梁」の良さを再発見する機会となり、大学生にとっては高梁の新発見や子どもとかわりをもつ機会となった。<br><br>応募者も多く、継続して進めていく必要がある。 |

## （２）地域の資源と人材の活用

### ○施策の方向

- ・学校と図書館や公民館、博物館、美術館等とが連携し、高梁市や各地域の自然や産業、歴史や文化、人物などに関する資料や情報を収集・活用するとともに、それらに精通した地域の人々を講師として活用することにより、子どもたちのふるさと高梁に対する理解を深めます。

| 事業名                                        | 事業実施目標                                    | 評価 | 成果・課題等                                              |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------|
| 特色ある学校づくり事業の推進<br>【学校教育課】                  | 地域の人材・資源を活用し、特色ある学校づくりの計画的な推進を図る。         | B  | Ⅱ－３－（１） P 3 5<br>特色ある学校づくり事業の推進へ記載あり                |
| 特色ある学校づくり事業の推進<br>【学校教育課】                  | 総合的な学習の時間における発達段階に応じた地域学習、伝統・文化・歴史の学習を行う。 | B  | 地域の特産品や史跡を調べるなどし、郷土に愛着をもつ児童生徒の育成が図られた。              |
| 小学校社会科副読本「はばたく！わたしたちの高梁市」の作成と活用<br>【学校教育課】 | 小学校３、４年において、郷土学習を推進する。                    | B  | 改訂された「はばたく！わたしたちの高梁市」を活用し、郷土の産業や偉人について積極的な学習が推進された。 |

### （３）地域住民によるふるさと学習の推進

○施策の方向

- ・郷土高梁に対する正しい理解を深めるため、地域の人材を活用し、次代の地域の担い手である子どもたちに伝えていくことを推進します。

| 事業名                                                   | 事業実施目標                                                             | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公民館運営事業<br>（公民館講座等による地域学習と地域課題への取組）<br><b>【社会教育課】</b> | 郷土高梁に対する理解や愛着を深めるため、公民館講座として、子ども議会・史跡めぐり教室などの講座を開催                 | B  | 地域（ふるさと）の良さを再認識し、伝えていくことが必要であるため、公民館講座において子ども議会、史跡めぐりを始めとする講座を開催した。<br>地域での参加者も多く、今後も継続して開催していく必要がある。                    |
|                                                       | 高梁中央公民館・高梁地域まちづくり推進委員会で「教育講演会」を開催し、郷土高梁について郷土出身の専門家に講演をしていただき勉強する。 | B  | 高梁市出身の都市計画プランナーの伊達氏を講師に迎え、一山と川のある城下町の風景は未来への贈り物一の講演会を開催した。<br>来場者も改めて自分達の郷土の良さを再発見・再認識し、大切に守り育てていくことの必要性を感じていた。（参加者200名） |

## Ⅱ 学識経験者の意見

○放課後子ども教室推進事業では、幅広く実践体験をしている。また、公民館活動等のいろいろな取組の中で、児童期、活動期の発達段階に活動を取り入れている。高梁の学力の向上のため、学校教育と社会教育が連携し、地域の教育力を活かして、学習的なものを取り入れることはできないか。

また、各地域での取組の情報交換をする場を設け、教育委員会からの指導助言のもと、さらに幅を広げていくという取組をしてはどうか。

○生涯学習の講座に参加することは学力・人間力につながる。また、大人の会に参加すれば大人になったらこうすればいいということが学べるという観点から、教育委員会全体で生涯学習と学力の向上を連携させ、取り組むことはできないか。

○安全パトロール隊や地域のボランティアの見守りにより、子どもたちの登下校の安全確保を図られている。

○子どもたちが安全に通学できるよう、通学路安全マップを作成されているが、個々の細い道や落石等の危険箇所も含めて見直しが必要である。

○子育てふれあいフェスティバルは、体験コーナーや講演会など子育てに関わる学習機会の充実が図られている。また、そういうことを求めている子どもたちや保護者が増えてきて、年々参加者が増えている。今後も内容を充実させ継続していく必要がある。

### Ⅲ 「生涯学習の機会を広げ、人権尊重の意識を育てます」

#### 1 生涯学習社会の構築を推進します

##### （１）生涯学習の振興

○施策の方向

- ・地域の特性や課題に応じた講座や研修会などの学習機会を提供し、地域社会への参加・参画を推進します。
- ・学習活動により自己実現を図り、学習成果を地域社会に生かす「学びの循環」を構築するとともに、社会教育団体等の活動支援やリーダーの育成を図ります。
- ・吉備国際大学をはじめ、地域の社会教育・福祉団体等と連携して、それぞれのライフステージに応じた学習を進めます。

| 事業名                                   | 事業実施目標                                                                                                          | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                            |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公民館運営事業<br>（公民館講座等学習機会の提供）<br>【社会教育課】 | 中央公民館（１館）、地区公民館（14館）、分館（20館）において学習機会を提供するために、高齢者料理教室・医療教室・交通安全教室・文化講演会など講座、研修会を実施するとともに、地域理解や協働推進、世代間交流等の事業を行う。 | B  | 各公民館において、それぞれ地域の特性を活かした特色ある講座や地域のニーズにあわせた講座を開設し、世代を超えた地域住民の交流・学習活動を活発に実施できた。<br><br>全公民館で約 200 講座（自主グループ含む）を開設し、幅広い学習活動を行うことができた。 |
| 公民館運営事業<br>（各種講座等の実施）<br>【社会教育課】      | 公民館講座（書道教室・華道教室・手芸教室など）を実施する。                                                                                   | B  | Ⅲ－１－（１） P 3 8<br>公民館講座等学習機会の提供<br>へ記載あり                                                                                           |
|                                       | 各種公民館講座の市民への周知徹底・利用促進を図るため広報・情報提供に努める。                                                                          | C  | 各公民館において公民館だより等を作成し、講座案内や講座作品紹介等を掲載した。<br><br>各講座の周知徹底に努め利用促進を図っている。                                                              |
| 各種講座等の実施<br>【社会教育課】                   | 公民館講座（竹細工教室・菊作り教室・ニュースポーツ教室など）を実施する。                                                                            | B  | Ⅲ－１－（１） P 3 8<br>公民館講座等学習機会の提供<br>へ記載あり                                                                                           |
| 学校支援地域本部事業<br>【社会教育課】                 | 市内 5 小学校区において学校支援地域本部事業を実施し、学校運営の支援をはじめ、地域性を活かした社会学習や伝統文化継承など地域住民ボランティアによる支援を行う。                                | A  | Ⅱ－１－（１） P 2 9<br>「学校支援地域本部事業」の推進<br>Ⅱ－２－（２） P 3 4<br>学校支援地域本部事業<br>へ記載あり                                                          |

| 事業名                                                                              | 事業実施目標                                                                 | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 放課後子ども教室推進事業<br>公民館運営事業<br>(子ども教室の実施)<br>【社会教育課】                                 | 放課後や週末に、安全・安心な居場所を設け、勉強や文化体験等の活動を通じて、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境を整備する。        | B  | Ⅱ－２－（１） P 3 2<br>放課後子ども教室推進事業<br>へ記載あり                                                                                                                                                            |
|                                                                                  | 公民館における子ども地域活動推進事業において、郷土高粱についての研鑽を深め、郷土に愛着をもってもらうため「子どものための高粱学」を実施する。 | B  | 公民館活動において、子ども活動地域促進事業で「子ども高粱学」実施した。<br>郷土の先人を学ぶ教室や、高粱の自然を調べたり、地域の史跡を訪ねるといった内容とし、高粱の文化や歴史、自然について子ども達が興味関心をもち、その素晴らしさに感動することで高粱を愛する気持ちを育むことを目的として開催した。<br>参加者は固定されつつあるが、今後はより多くの参加者を集めることが課題となっている。 |
| 婦人教育推進事業<br>成人式運営事業<br>三溪青少年文化・スポーツ振興基金事業<br>(婦人教育推進事業や青少年育成支援事業への取組)<br>【社会教育課】 | 婦人の教養と地位向上及び地域の活性化の活動推進のため、婦人大会、スポーツ教室等を開催する。                          | A  | 婦人の教養と地位向上及び地域の活性化、婦人相互の交流を図るため研修を開催した。<br>・スポーツ講習会（H23.5/10）23人参加<br>・婦人大会（H24.2/27）88人参加<br>・防災研修会（H24.1/19）41人参加<br>・ニュースポーツ教室<br>4教室延べ906人参加                                                  |
|                                                                                  | 新成人の祝賀と自覚を促すために成人祝賀式を開催する。                                             | A  | 新成人による実行委員会を組織し、自主性を活かし、式典及び記念行事を企画実施した。<br>また新成人から募集した感謝の言葉を収録した「20歳のありがとう」小冊子を製作配布した。<br>出席者235人／対象者483人                                                                                        |
|                                                                                  | 文化・スポーツ活動の奨励のため、全国規模の大会出場者に対し、助成事業を行う。                                 | A  | 全国規模の大会出場者に助成を行った。<br>・個人1名 ダンス国際大会出場者<br>・団体1件 高粱中学校合唱部                                                                                                                                          |

| 事業名                                  | 事業実施目標                                                       | 評価 | 成果・課題等                                      |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------|
| 成人大学講座開設事業<br>（成人大学講座の実施）<br>【社会教育課】 | 吉備国際大学との連携事業として講座を開催する。                                      | B  | 順正学園第１体育館において「これからの健康運動を楽しむ」と題して４回の講座を実施した。 |
| 高梁すきすき体験隊の開催<br>【社会教育課】              | 市内の児童が、郷土への愛着・理解を深めることを目的に、児童４０名を募集し、夏休み期間中に市内学習スポットを２日間で巡る。 | B  | Ⅱ－３－（１） P 3 6<br>高梁魅力再発見事業の実施<br>へ記載あり      |

## （２）公民館活動の充実

### ○施策の方向

- ・地域の良さを再発見する「ふるさと学習」や地域伝統文化講座、地域課題に係る講座など、地域理解を深める学習を支援します。
- ・生涯学習推進ネットワークの充実を図るため、地域のまちづくり・コミュニティ組織や地域団体と連携、協働していくとともに各公民館が連携を図ります。
- ・学習機会の提供とともに、世代間交流事業など学習成果を地域で活かす仕組みづくりを行います。

| 事業名                                        | 事業実施目標                                              | 評価 | 成果・課題等                                                                                                         |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公民館講座等の実施<br>【社会教育課】                       | 公民館講座（史跡めぐり教室・野鳥教室・渡り拍子教室）を実施する。                    | B  | Ⅲ－１－（１） P 3 8<br>公民館講座等学習機会の提供<br>へ記載あり                                                                        |
|                                            | 「郷土史」講座において、郷土の歴史を新たに学ぶため巡検を実施する。                   | B  | 兵庫県豊岡市へ巡検に行き、城下町の町並みの様子や出石の由緒ある史跡見学をし、歴史について学んだ。                                                               |
| 公民館運営事業<br>（地域団体等と連携した公民館事業の実施）<br>【社会教育課】 | 地域まちづくり協議会その他の団体と共催で、運動会・文化祭・講演会などを実施する。            | B  | 地域まちづくり協議会や関係団体と連携し共催で運動会・文化祭・講演会・物産まつりなど各公民館で開催した。<br><br>地域の団体と連携することで、多くの人との交流が図れ、多くの知恵が生まれ地域の活性化を図ることができた。 |
| 三世代交流事業の実施<br>【社会教育課】                      | 公民館活動において、三世代グラウンドゴルフ大会やおもちつき・とんど焼きなどの三世代交流事業を実施する。 | B  | Ⅱ－２－（３） P 3 4<br>公民館活動での取組<br>へ記載あり                                                                            |

## （３）社会教育施設の充実

## ○施策の方向

- ・文化交流館、生涯学習センター等の施設について、多様化・高度化する学習ニーズに対応するため、機能を充実し幅広い学習機会を提供します。
- ・生涯学習の拠点施設として新しい図書館を建設整備します。
- ・老朽化している社会教育施設について、誰もが安心して利用できるように整備し、学習意欲の向上を図ります。

| 事業名                     | 事業実施目標                                                             | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                         |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社会教育施設等管理事業<br>【社会教育課】  | 有漢社会教育センター、高梁市青少年研修センター、有漢生涯学習センター、成羽文化センター、川上総合学習センターの維持管理・充実を図る。 | B  | 社会教育施設の維持管理を行い、利用促進を図った。<br>(利用状況)<br>・有漢社会教育センター 20 件 418 人<br>・高梁市青少年研修センター 29 件 588 人<br>・有漢生涯学習センター 224 件 4,639 人<br>・成羽文化センター 321 件 5,554 人<br>・川上総合学習センター 492 件 13,378 人 |
| 新図書館建築整備事業<br>【高梁中央図書館】 | 新庁舎建設調査特別委員会の結論を踏まえて基本計画を策定する。                                     | D  | 特別委員会では、新庁舎の建設は現在地となり、庁舎との複合は消えたため、新たに都市ビジョンにより建設場所の選定から検討していくこととなった。                                                                                                          |

#### （４）青少年の健全育成

○施策の方向

- ・ 学校、家庭及び地域社会が連携し、社会全体で子どもを育てる機運の醸成を図ります。
- ・ 将来自立した社会人として豊かな生活を送るために、規範意識や豊かな感性等を身につける学習活動の充実を図ります。
- ・ 地域への愛着と誇りを深めるために、地域の自然や歴史、産業等の学習を推進します。
- ・ 青少年育成センターを拠点として、地域の青少年育成団体や学校等が連携して青少年の健全育成に努めます。

| 事業名                           | 事業実施目標                                                                                                             | 評価 | 成果・課題等                                                                                |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 子育てふれあいフェスティバル<br>【社会教育課】     | 教育講演会、体験活動ボランティアグループによる体験コーナー、読書ボランティアによるお話会や展示紹介コーナーなど子育てに関わる有志や団体が集い、子育て支援の啓発、ネットワークの形成のため「子育てふれあいフェスティバル」を開催する。 | B  | Ⅱ－１－（５） P 3 1<br>子育てふれあいフェスティバルの実施へ記載あり                                               |
| 子育て応援講座及び乳幼児学級等の実施<br>【社会教育課】 | 子育てに関する様々な知識を深め、親子で楽しく成長していくため、親子の健康に関する講座（ママのためのピラティス教室・親子ふれあい健康教室）を実施する。                                         | B  | Ⅱ－１－（４） P 3 0<br>子育て応援講座や乳幼児学級等の実施へ記載あり                                               |
|                               | 近頃では馴染みのないわらべ歌を学ぶ機会や、本の読み聞かせなどの講座内容の乳幼児学級を開催し、学びながら同じ年頃の子どもをもつ親同士の交流を図る。                                           | B  | Ⅱ－１－（４） P 3 1<br>子育て応援講座や乳幼児学級等の実施へ記載あり                                               |
| 学校支援地域本部事業<br>【社会教育課】         | 市内５小学校区において学校支援地域本部事業を実施し、学校運営の支援をはじめ、地域性を活かした社会学習や伝統文化継承など地域住民ボランティアによる支援を行う。                                     | A  | Ⅱ－１－（１） P 2 9<br>「学校支援地域本部事業」の推進<br>Ⅱ－２－（２） P 3 4<br>Ⅲ－１－（１） P 3 8<br>学校支援地域本部事業へ記載あり |

| 事業名                             | 事業実施目標                                                                                | 評価 | 成果・課題等                                                                                                        |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域子育て創生事業<br>【社会教育課】            | 各地域においてそれぞれのライフステージにあわせた講座を開催する。                                                      | B  | P T Aを対象に各幼・小・中学校において生活習慣や食育・子育てなどそれぞれのライフステージにあせた家庭教育支援講座を開催した。<br><br>(22 回開催 延べ参加者数 1,169 名)               |
| 広がる子どもの夢事業<br>【社会教育課】           | プロスポーツ施設の見学や最先端科学技術の体験など本物に触れたり普段できない体験を通じ子ども達の心に感動や目に見えない大切なものを見つけてもらうことを目的として事業を行う。 | A  | Ⅱ－２－（１） P 3 2<br>広がる子どもの夢事業の推進<br>へ記載あり                                                                       |
| 各子ども教室推進事業<br>【社会教育課】           | 放課後や週末に、安全・安心な居場所を設け、勉強や文化体験等の活動を通じて、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境を整備する。                       | B  | Ⅱ－２－（１） P 3 2・3 3<br>放課後子ども教室推進事業<br>Ⅲ－１－（１） P 3 8<br>公民館運営事業<br>へ記載あり                                        |
| 少年団体の活動支援<br>【社会教育課】            | 青少年の育成に努める少年団の運営支援の促進を図るため活動補助金を交付する。                                                 | B  | Ⅱ－２－（１） P 3 3<br>青少年支援育成事業<br>へ記載あり                                                                           |
|                                 | 福祉団体や都市部のスポーツ団体との交流事業について活動の助成を行う。                                                    | B  | Ⅱ－２－（１） P 3 3<br>青少年支援育成事業<br>へ記載あり                                                                           |
| 高粱魅力再発見事業<br>【社会教育課】            | 市内の児童が、郷土への愛着・理解を深めることを目的に、児童 4 0 名を募集し、夏休み期間中に市内学習スポットを 2 日間で巡る。                     | B  | Ⅱ－３－（１） P 3 6<br>高粱魅力再発見事業に実施<br>Ⅲ－１－（１） P 4 0<br>高粱すきすき体験隊の開催<br>へ記載あり                                       |
| 公民館運営事業<br>(各種公民館講座)<br>【社会教育課】 | 地域の子どもの地域で育てるため子ども地域活動促進事業において講座(史跡めぐり・野鳥の観察・野外活動など)を開催する。                            | B  | 公民館単位(10 地区)で、「野鳥の観察」や「子ども議会」「おかざり作り教室」など地域の特徴を生かした文化・自然体験活動を実施した。<br><br>(高粱地域 10 地区<br>68 回開催 参加者数 1,627 名) |

| 事業名                      | 事業実施目標                                                 | 評価 | 成果・課題等                                                           |
|--------------------------|--------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------|
| 青少年育成センター運営事業<br>【社会教育課】 | 街頭補導、相談活動を行うとともに、関係機関や諸団体と連携し、青少年の非行防止に努め、青少年の健全育成を図る。 | B  | 青少年の指導、育成、保護を計画的に実施し、休業中やイベントの際に補導を実施した。<br><br>(補導実施人員延べ 269 人) |

## 2 人権が尊重される社会の実現に努めます

### (1) 人権が尊重される社会の実現

#### ○施策の方向

- ・学校・家庭・地域社会・職場等さまざまな場で人権教育・啓発に取り組んでいきます。
- ・人権意識の高揚を図るために、講演会や研修会の開催、リーフレットの配布等を行うとともに、講師派遣や教材の貸出・提供等を行い、企業・学校・地域での自主的な学習を支援します。

| 事業名                                              | 事業実施目標                                   | 評価 | 成果・課題等                                                                                                          |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社会人権教育講座開設事業<br>(人権問題学習講座)<br>【社会教育課】            | 6回の連続講座で、様々な人権の今日的課題をテーマに講演研修会を行う。       | B  | 各公民館を通じ参加要請により、学校・地域から延べ 650 名が受講し、内 4 回以上の受講者 22 名へ修了証を授与した。<br><br>市内各地域から毎回 100 名前後の受講があり、事業として定着し、成果をあげている。 |
| 社会人権教育講座開設事業<br>(PTA 人権教育研修会)<br>【社会教育課】         | 幼稚園・小学校・中学校の P T A を対象に人権教育研修会を行う。       | B  | 各学校の P T A により、人権教育研修会を開催し、人権問題に関する認識を深めた。<br><br>(32 単位 PTA、延べ 2,230 人)                                        |
| 社会人権教育講座開設事業<br>(就学前人権教育研修会)<br>【社会教育課】          | 教諭・保育士を対象に就学前人権教育研修会を開催する。               | B  | 幼稚園・保育園職員を対象に、就学前人権教育推進事業として研修会を行った。<br><br>(1 回、44 名)                                                          |
| 社会人権教育講座開設事業<br>(子どものエンパワーメント育成事業の実施)<br>【社会教育課】 | 幼稚園・小学校・中学校において、子どものエンパワーメントに関する講座を開催する。 | B  | 子どもを取り巻く社会問題のなかで、子どもの自主防衛力を高めるため、子どものエンパワーメント育成事業を実施した。<br><br>(10 校園延べ 510 人)                                  |

| 事業名                                          | 事業実施目標                 | 評価 | 成果・課題等                                                                           |
|----------------------------------------------|------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------|
| 社会人権教育講座開設事業<br>(人権啓発リーフレット作成・配布)<br>【社会教育課】 | 人権啓発リーフレットを作成し、配布する。   | B  | 現代的課題もあわせ人権問題意識の定期的な啓発のため、啓発リーフレット「きずな」を市内各戸に配布し啓発に努めた。                          |
| 社会人権教育講座開設事業<br>(男女共同参画講演会の開催)<br>【社会教育課】    | 男女共同参画講演会を開催する。        | B  | 男女共同参画社会をめざし、一般市民、企業、公民館関係者、市職員等を対象とした講演会を開催し、意識の向上を図ることができた。<br><br>(参加者 175 人) |
| 社会人権教育講座開設事業<br>(人権啓発ビデオの活用)<br>【社会教育課】      | 人権啓発ビデオを貸出し、人権教育に活用する。 | C  | 学校や団体等の人権学習の機会に活用できるよう啓発ビデオを整備・貸出しを行った。<br><br>(貸出本数 8 本)                        |

### Ⅲ 学識経験者の意見

○学校支援地域本部事業等で、地域の高齢者が講師となり、専門的なことを教えている。このことは、高齢者にとっては生きがいとなり、子どもにとっては地域の人との交流の場となっている。しかし、高齢者が子どもと一緒に教室で学ぶという機会はないものであろうか。高齢者と子どもが共に学ぶことにより、高齢者にとっては楽しみにもなるし、子どもの学習意欲の向上にもつながると考えられる。

## IV 「地域の伝統や文化の維持向上をめざします」

### 1 地域文化の振興を図ります

#### (1) 地域文化・芸術活動の振興

##### ○施策の方向

- ・地域の文化・芸術諸団体の活動を支援するとともに、市民相互の連携を深めることで地域文化の創造と交流を推進します。また、芸術・文化を鑑賞する機会を提供します。
- ・郷土の偉人山田方谷をはじめとする歴史的人物の顕彰事業を行います。
- ・市民の文化への関心と学習意欲に応えるため文化講座等を開催するとともに、貴重な文化財等に触れる機会を提供します。

| 事業名                     | 事業実施目標                                               | 評価 | 成果・課題等                                                                 |
|-------------------------|------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------|
| 各文化団体等への活動支援<br>【社会教育課】 | 各地域の文化協会や本市文化連盟への活動支援を行う。                            | B  | 各文化協会が行っている文化活動への支援として、委託事業の実施や補助金を交付するとともに、芸術、文化振興に努めた。               |
|                         | 市民の文学等創作活動を奨励し、豊かな地域文化の振興を図るため、文学選奨を募集する。            | B  | 第7回高梁市文学選奨は、応募人数84人、応募点数103点と、多くの方に応募いただくとともに、小中学生が入賞するなど、裾野が広がってきている。 |
| 歴史人物事典の発行<br>【社会教育課】    | 高梁市の歴史に関わりのあった人物を一連にまとめた歴史人物事典を作成する。                 | C  | 平成24年度で発行するため、歴史的人物の抽出、記載内容の精査を行った。                                    |
| 歴史文化講座の開催<br>【社会教育課】    | 子どもを対象とし、市内の歴史的文化遺産や指定文化財を訪ね、郷土高梁への愛着を高めるための講座を開催する。 | B  | 市内の小学生を対象として、城下町高梁と伝建保存地区である吹屋での歴史文化講座を開催し、郷土高梁への愛着を高めた。               |

#### (2) 文化施設の充実

##### ○施策の方向

- ・総合文化会館、歴史美術館、成羽美術館、吉備川上ふれあい漫画美術館、景年記念館、郷土資料館等の文化施設において、市民ニーズに沿った事業や展覧会を行います。
- ・老朽化がみられる文化施設については、安全で快適な施設環境を整えるために設備の更新や改修を計画的に行います。

| 事業名                               | 事業実施目標                                      | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------|---------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 各文化施設での企画展・特別展等展覧会の開催<br>【文化センター】 | 高梁市歴史美術館特別展、企画展など自主事業を実施し、歴史文化の向上を図る。       | C  | <p>山田方谷関係の展示や県展の開催により入館者数は前年度を上回ったが、開催時期や展示内容等に工夫が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「備中松山の人々～山田方谷と備中松山藩士」 入場者数 996 人</li> <li>・企画展「景年書作展」 入場者数 107 人</li> <li>・企画展「小倉魚禾と清水比庵」 入場者数 457 人</li> <li>・第 62 回岡山県美術展覧会 入場者数 691 人</li> <li>・特別展「高梁の仏画」 入場者数 831 人</li> <li>・「アートの中の岡山 2011」 入場者数 228 人</li> <li>・特別展「日本画家綱島静観展」 入場者数 514 人</li> </ul>                                         |
|                                   | 高梁総合文化会館自主事業の実施により、芸能文化や講演会など多くの文化に親しんでもらう。 | C  | <p>歌舞伎公演をはじめ、子供から大人まで幅広い年齢層に対応した自主事業を実施。今後、公演等の内容と開催時期の見直しが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AROUND40 メモリーコンサート 入場者数 368 人</li> <li>・ 第 23 回三曲演奏会 入場者数 310 人</li> <li>・ 松竹大歌舞伎 入場者数 1,181 人</li> <li>・ 朱鷺たたら篠笛コンサート 入場者数 394 人</li> <li>・ 第 21 回コーラスフェスティバル 入場者数 538 人</li> <li>・ 劇団四季ファミリーミュージカル 入場者数 419 人</li> <li>・ 文化講演会 入場者数 741 人</li> <li>・ 忍たま乱太郎ファミリーコンサート 入場者数 491 人</li> </ul> |

| 事業名                               | 事業実施目標                                               | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                  |
|-----------------------------------|------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 各文化施設での企画展・特別展等展覧会の開催<br>【文化センター】 | 吉備川上ふれあい漫画美術館において、自主事業を実施する。                         | B  | 事業参加者数は前年並みであり、一定の成果があった。<br>・夏休みワクワク手作り体験教室<br>参加者数 344 人<br>・平松伸二原画展 入場者数 1,794 人<br>・漫・賀・年賀状コンテスト 2012<br>応募者数 648 点 |
| 老朽化がみられる施設の計画的改修<br>【社会教育課】       | 竣工から 15 年以上が経過し、外壁・目地シール・外部建具等に塗膜劣化現象がある成羽美術館の改修を行う。 | B  | サッシ廻りのシーリング改修、外壁の補修等、館全体を再点検し、劣化現象が進んでいる箇所を中心に改修を行った。<br>工事費 19,425,000 円                                               |
| 老朽化がみられる施設の計画的改修<br>【文化センター】      | 高梁総合文化会館調光設備の修繕工事を行い老朽化した設備の改修を行う。                   | A  | 予算内で計画どおりの改修工事を実施した。築 27 年を経過し、計画的に改修を行っていく。                                                                            |
|                                   | 高梁文化交流館舞台吊物設備の修繕、館内非常照明用バッテリー取替を実施し安全に利用できる施設とする。    | A  | 予算内で計画どおりの修繕及び取替を実施した。今後とも利用者が安全に利用できる施設としていく。                                                                          |
| 故障箇所等への随時修繕実施<br>【文化センター】         | 老朽箇所の随時修繕を行う。                                        | B  | 予算範囲内で随時修繕を行った。空調設備の老朽化が著しく、今後とも計画的に修繕を行っていく。                                                                           |

### (3) 文化財の保護・保存と活用

#### ○施策の方向

- ・文化財の適切な保存・管理に努め、調査・研究を継続的に行い、活用を図ります。
- ・国指定史跡備中松山城跡及び重要文化財である備中松山城・旧片山家住宅を保護保存、整備し、学術的な調査を進めるとともに、その活用を図ります。また、臥牛山全域の史跡指定について関係機関と協議していきます。
- ・「臥牛山のサル生息地」等天然記念物の適切な保護・管理に努めます。
- ・備中神楽や渡り拍子等の伝統芸能については、後世に伝え残していくために、保存会等への支援や顕彰事業に取り組みます。

| 事業名                          | 事業実施目標                                                             | 評価 | 成果・課題等                                                                                                     |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 文化財保護事業<br>【社会教育課】           | 重要文化財の指定等のため、文化財保護審議会を開催する。                                        | B  | 審議案件：市指定文化財の新規指定<br>史跡寺山城跡<br>報告案件：備中松山城跡保存整備、災害復旧事業ほか4件<br>開催日：平成23年8月22日(月)<br>午前10時～<br>出席委員 8名 欠席委員 3名 |
| 文化財保護管理事業<br>【社会教育課】         | 文化財の適切な保存、管理に努め、継続的に調査研究を実施する。国、県、市指定文化財の管理を行う。                    | B  | 文化財案内看板を3基設置した。                                                                                            |
| 文化財に親しむための市民講座の実施<br>【社会教育課】 | 市民が文化財等に関心をもち、学習意欲に応えるための講座を開催する。                                  | B  | 高梁歴史いろは塾を開催した。(共催)<br>回数：8回(備中松山城の藩主、備中神楽、渡り拍子など)<br>参加者：延べ210人                                            |
| 史跡備中松山城跡整備事業<br>【社会教育課】      | 天神の丸跡の保存のため、天神社の発掘調査、遺構整備を行う。                                      | B  | 石段解体復元、拝殿遺構表示を行った。                                                                                         |
|                              | 平成22年7月の梅雨前線豪雨による、小松山城跡後曲輪石垣災害復旧事業を行う。                             | A  | 石垣解体復元工事 32 m <sup>2</sup> 、遺構保護工事を行った。                                                                    |
| 文化財管理事業<br>【社会教育課】           | 重要文化財旧片山家住宅や伝建保存地区など、その歴史的・文化的価値を保全し、学習の場等として活用していく。               | B  | 玄米蔵の整備を行った。<br>平成23年度入場者 16,226人                                                                           |
|                              | 備中松山城の史跡指定地及びその周辺の歴史的・学術的・文化的価値を保全し、学習の場として活用していく。                 | B  | 平成23年度入城者 42,008人                                                                                          |
| 天然記念物管理事業<br>【社会教育課】         | サルの行動域拡大等に伴い捕獲檻の設置を行う。<br>また、現地対策要員、地域住民、猟友会等との連携・協力により食害対策を進めていく。 | B  | 新規捕獲檻の購入 11基<br>平成23年度被害件数 154件                                                                            |

| 事業名                           | 事業実施目標                                                    | 評価 | 成果・課題等                                                        |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------|
| 天然記念物管理事業<br>【社会教育課】          | 天然記念物の管理団体として、次期保護管理計画策定に向けての取組として、管理調査の見直し作業を行う。         | B  | 平成24年度より専門研究員を配置すべく、嘱託職員を採用する。                                |
| 伝承のための研修会等の実施<br>【社会教育課】      | 備中神楽発祥の地である成羽町日名地区を舞台に、文化財の伝承、継承を目的としたイベントとして、国橋まつりを開催する。 | B  | 開催日：平成23年4月24日（日）<br>来場者：約1,000名                              |
|                               | 備中神楽の普及振興を図るため、保存団体である備中神楽成羽保存会による神楽大夫の研修会を実施する。          | B  | 開催日：平成23年6月26日（日）<br>開催演目：比婆荒神神楽ほか                            |
| 各伝統芸能保存・育成団体への活動支援<br>【社会教育課】 | 伝統文化「備中神楽」「渡り拍子」の保存伝承及び育成を行う団体への支援                        | B  | 備中神楽<br>保存会 3団体、育成会 7団体<br>渡り拍子<br>保存会 24団体、<br>保存伝承用設備整備 1団体 |

#### （４）歴史的町並み保存と景観形成の推進

##### ○施策の方向

- ・歴史まちづくり法（地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律）に基づき、歴史的建造物や伝統的活動で形成された歴史的風致を維持向上させる事業に取り組みます。
- ・城下町としての面影を残す歴史的町並み保存地区整備事業を、地域住民の理解と協力を得て引き続き推進し、周辺に残る文化財と一体的な活用を行います。
- ・「臥牛山のサル生息地」等天然記念物の適切な保護・管理に努めます。
- ・吹屋伝統的建造物群保存地区については、計画的な家屋の整備に努めます。

| 事業名                    | 事業実施目標                                                        | 評価 | 成果・課題等                                                 |
|------------------------|---------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------|
| 郷土資料館保存修理事業<br>【社会教育課】 | 文化財としての歴史的な真正性の確保、原型に沿った忠実な修復を目的として、郷土資料館調査委託し、文化財調査報告書を策定する。 | A  | 委託先：独立行政法人 国立文化財機構<br>奈良文化財研究所<br>平成23年度委託料：1,000,000円 |

| 事業名                                  | 事業実施目標                                  | 評価 | 成果・課題等                                                  |
|--------------------------------------|-----------------------------------------|----|---------------------------------------------------------|
| 備中松山踊り保存調査事業<br>【社会教育課】              | 文化財指定を目指して、「松山踊り保存調査報告書」を策定する。          | B  | 平成23年度は、報告書策定に向けての基礎資料を収集した。                            |
| 備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業<br>【社会教育課】       | 伝統文化「備中神楽」「渡り拍子」の保存伝承及び育成を行う団体へ支援を行う。   | B  | IV-1-(3) P50<br>各伝統芸能保存・育成団体への活動支援へ記載あり                 |
| 町並み保存整備事業<br>【社会教育課】<br>【歴史まちづくり課】   | 城下町としての面影を残す歴史的町並み保存地区の整備を行う。           | A  | 平成23年度<br>修景整備家屋：2棟<br>事業費：3,042,948円<br>補助額：2,281,000円 |
| 吹屋伝建家屋保存事業<br>【社会教育課】                | 伝統的建造物群保存地区である「吹屋」における家屋等の保存修理を行う。      | A  | 平成23年度<br>保存修景家屋：1棟<br>補助額：26,466,000円                  |
| 伝統的建造物群保存地区保存対策調査（見直し）の実施<br>【社会教育課】 | 伝建地区内の家屋の傷み具合等、家屋別の保存修理の緊急度等見直し調査を実施する。 | A  | 委託先：藤田盟児（伝建審議会委員）<br>委託金額：2,394,000円                    |

#### IV 学識経験者の意見

- 天然記念物としての猿と有害鳥獣としての猿について、関係機関と連携し、その対策が必要である。
- 備中神楽や渡り拍子のイベントや他地域との交流を通して、伝承文化の継承を支援されている。また、育成団体の活動支援や研修会を通じて、後継者の育成を図られている。子どもには子どもの魅力があるので、神楽や渡り拍子以外のものも含めて継承に取り組んではどうか。
- 歴史と伝統を誇る県下三大踊りである備中松山踊りを市内全域に浸透させるため、子どもたちが松山踊りに参加できる機会や、運動会等の行事で親子が参加する取組等、その普及が必要である。

## V 「スポーツの振興を図ります」

### 1 スポーツの振興を図ります

#### (1) スポーツの振興

##### ○施策の方向

- ・ 体育協会等スポーツ関係団体の組織力の強化に努めます。
- ・ 地域の特色を活かし誰もが年齢や技術・興味・目的に応じてスポーツに親しむことができるよう総合型地域スポーツクラブを育成・支援します。
- ・ 体育指導委員のスポーツ指導の強化・充実に努め、子どもから高齢者まで年代に適したスポーツ・レクリエーション活動の振興を図り、市民の健康増進を進めます。
- ・ 大学、高校、中学校の連携を深め、相互の指導者育成や派遣等により、競技力の向上やスポーツの振興を図ります。
- ・ 各種スポーツ大会や教室、講習会を開催し、スポーツ少年団等の支援・育成を図ります。
- ・ 本市のスポーツ施設を活用したトップアスリートによる教室等の開催により、競技力の向上と競技人口の拡大をめざします。

| 事業名                          | 事業実施目標                                                                                                   | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 各種競技会の開催<br>【スポーツ振興課】        | 軟式野球・ソフトボール・バドミントン・バレーボール・バスケットボール・卓球・柔道・剣道・弓道・陸上競技・ゴルフ・ゲートボール・グラウンドゴルフ等体育協会により、各種競技大会を開催し、競技力の向上と親睦を図る。 | A  | <p>高梁市体育協会では、年間約 110 大会を開催し、参加者数は延べ 9,021 人にのぼる。</p> <p>本会 4,948 人<br/>普及推進部 4,073 人<br/>(有漢支部 561 人)<br/>(成羽支部 729 人)<br/>(川上支部 2,130 人)<br/>(備中支部 653 人)<br/>合計 9,021 人</p> <p>「各種競技スポーツ大会」には、多くの参加者が集い、競技力の向上と親睦を兼ねて成果が上がっていると考えられる。</p> <p>課題としては、それぞれの大会の自主的・自立的な運営にむけて、ますます努力していくことが求められる。</p> |
| 各種スポーツ教室、講習会の開催<br>【スポーツ振興課】 | プロチームや吉備国際大学の連携により、バレーボール、サッカー等のスポーツ教室や講習会を開催                                                            | B  | <p>○「講習会」</p> <p>・「バレーボール講習会」(119 名)</p> <p>岡山シーガルズ</p>                                                                                                                                                                                                                                              |

| 事業名                      | 事業実施目標                                                                       | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                          | する。                                                                          | B  | <p>・「少年野球教室」(165名)</p> <p>倉敷オーシャンズ</p> <p>・「サッカー講習会」(90名)</p> <p>ファジアーノ岡山</p> <p>各種スポーツ「講習会」においては、参加した市民の競技力向上、技術の習得に役立ったという点が一番の成果である。有名な選手の指導を受けたり、基本的な技術を教えてもらったりすることは、その競技をより理解し、スポーツを好きになる動機付けにもつながっている。</p> <p>課題としては、参加する側と、指導する側の日程調整が難しい点である。</p> |
| マラソン大会の開催<br>【スポーツ振興課】   | <p>市民の健康づくりを目的に、マラソン大会を開催する。</p> <p>・愛らぶ高粱ふれあいマラソン</p> <p>・なりわ健康マラソン</p>     | B  | <p>競技志向の高い人を対象とする大会と初心者・高齢者・愛好者を対象とする大会とを実施している。</p> <p>愛らぶ高粱ふれあいマラソン大会(2/12)<br/>(977名)</p> <p>なりわ健康マラソン(3/4) (326名)</p>                                                                                                                                  |
| スポーツ少年団の育成<br>【スポーツ振興課】  | <p>スポーツ少年団の交流と育成を図る。</p> <p>また、スポーツ少年団に対して体育施設使用料を免除するなどスポーツを通じた支援を実施する。</p> | A  | <p>平成23年度のスポーツ少年団は33団体、団員数は733人と少子化の中でも大きな変化がない状況にあり、本市の特徴となっている。</p> <p>交歓大会を開催し、相互の交流を通じて活動の活性化を図った。また、体育施設使用料の免除など支援策も実施している。</p>                                                                                                                       |
| スポーツ団体等への支援<br>【スポーツ振興課】 | <p>たかはしコミュニティ・スポーツクラブ「ビオーネ」への指導助言を行い、年齢や競技を問わず、市民が気軽にスポーツを楽しめる機会を提供する。</p>   | B  | <p>春秋の2回、スポーツフェスティバルや各種教室を開催した。「ビオーネ」の登録者は、平成22年度126人、平成23年度は191人と増加している。</p> <p>しかし、組織は脆弱で課題も多く、今後は自主運営できるようにさらに助言や支援を継続して行く必要がある。</p>                                                                                                                    |

| 事業名                         | 事業実施目標                                             | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------|----------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スポーツ団体等への支援<br>【スポーツ振興課】    | 体育指導委員の指導力強化のため、研修会等の参加への旅費の補助や活動を支援する。            | B  | 研修会への参加に係る旅費の補助等を行った。                                                                                                                                                                                                        |
|                             | 新たな組織構成によるスポーツ振興の向上を図るため、体育協会の法人化などを検討する。          | C  | 高梁市体育協会は年間を通じて多くの大会行事を開催しているが、今後は本体の法人化を進め、各団体が自主的・自立的に準備・運営できるように支援していく必要がある。                                                                                                                                               |
| 大学等との連携<br>【スポーツ振興課】        | 大学、高校、中学校の連携を深め、相互の指導者育成や派遣等により、競技力の向上やスポーツの振興を図る。 | B  | 吉備国際大学との連携事業として、後期試験の終了時（2月中旬）にあわせ、柔道、剣道、バレーボール、フラッグフットボールの4教室の「ジュニアスポーツスクール」を開催し、総計82名の参加があった。<br><br>大学の有能な選手とふれあう機会を提供するという本事業は、本市ならではの事業であり、人気も高く、今後も継続発展させていきたい。<br><br>大学の試験終了をねらって行う活動のため、どうしても真夏、真冬の活動になるのが今後の課題である。 |
| スポーツ少年団等の支援・育成<br>【スポーツ振興課】 | 各種スポーツ大会や教室、講習会を開始し、スポーツ少年団等の支援・育成を行う。             | B  | 硬式テニスなど8種目にわたる「スポーツ教室」（220名）を実施した。<br><br>課題として、参加者が固定化してくる傾向があり、新規参加者が少ないという点があげられる。広報活動を十分して参加者の掘り起こしを行う必要がある。                                                                                                             |
| 競技力向上に向けた取組<br>【スポーツ振興課】    | 本市のスポーツ施設を活用してトップアスリートの教室等を開催し、競技力の向上と競技人口の拡大を図る。  | B  | V-1-(1) P52・53<br>各種スポーツ教室、講習会の開催へ記載あり                                                                                                                                                                                       |

## (2) スポーツ施設の充実

## ○施策の方向

- ・ 神原スポーツ公園や有漢スポーツパーク・なりわ運動公園・高梁市民体育館等、市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、施設の環境維持管理に努めます。
- ・ 施設の多くは老朽化が進んでいることから、利便性や地域のバランス、施設の規模、必要性等を十分に考慮・検討しながら年次計画を策定し、改修・整備を行います。
- ・ 市内唯一の 50m プールである高梁市民プールは老朽化が著しいため、改修・整備を行います。また、市内に点在する市民プールの今後のあり方を検討します。

| 事業名                      | 事業実施目標                                         | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                  |
|--------------------------|------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施設の維持管理<br>【スポーツ振興課】     | 高梁市内のスポーツ施設維持のため、保守管理や補修を行う。                   | B  | 利用者が安全にかつ安心して利用できる施設を維持していくため、修繕等の必要性が高い箇所から優先的に修繕を実施した。<br><br>施設の多くは老朽化が進んでいるため、安全性・必要性を十分検討しながら年次的に修繕が必要である。                                         |
| 施設の改築・修繕<br>【スポーツ振興課】    | 神原スポーツ公園、高梁運動公園、ききょう緑地公園、なりわ運動公園等の改築・修繕を行う。    | B  | 主な改修として、なりわ運動公園野球場の内野整備、神原スポーツ公園多目的グラウンドの散水設備改修等を実施した。利便性が向上し、各種競技の公式戦や交流合宿等の実施において、円滑な運営が可能となっている。                                                     |
|                          | きめ細やかな交付金事業（H22→H23 年度）を活用し、体育施設の改修・修繕を実施する。   | A  | 神原スポーツ公園改修（陸上競技場 4 種公認更新に係る多目的グラウンドの改修、テニスコート砂入り人工芝の張替等、スポーツ用具の購入、市内体育施設の修繕等を行った。<br><br>各種競技において公式大会等の開催も可能となり、県内外から多くの利用者が訪れるようになり、市の活性化に繋げることが可能となる。 |
| 市民プールの改築・整備<br>【スポーツ振興課】 | 高梁市民プール改築及び有漢市民プールのプールサイドの整備を行い、安全面・衛生面の対策を行う。 | B  | 老朽化が著しい高梁市民プール改築に係る実施設計を実施した。市内唯一の 50m プールとして学童水泳記録会等の開催だけでなく、市民が利用しやすい市民プールを目指して検討を行った。                                                                |

## (3) 広域的なスポーツ交流の推進

## ○施策の方向

- ・国、県レベルの競技大会の誘致を行い、広域的なスポーツ交流をさらに推進することにより、市の活性化を図ります。
- ・スポーツふれあい交流事業等を実施し、スポーツ少年団等の支援を行います。
- ・施設を活用した交流人口の増加をめざし、高校や大学等の合宿などの誘致を進めます。

| 事業名                          | 事業実施目標                                                                 | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自転車競技会の開催<br>【スポーツ振興課】       | ヒルクライムチャレンジシリーズ(全国大会)を開催(10/29～30)し、スポーツ交流を図る。                         | B  | 初めての大会ということもあり、運営組織作り等で混乱し、多くの課題を残した。市民が参加し楽しめる大会に成長する必要がある。<br><br>参加したサイクリストからは、温かい感想を数多くいただき、「このイベントに参加して、高粱が好きになった。」「ツール・ド・フランスに参加しているようだ。」と高い満足度と評価をもらった。                                                                                                                                                                             |
| スポーツふれあい交流事業の実施<br>【スポーツ振興課】 | スポーツに親しむことから技術力の向上を目指し、ファジアーノ岡山、岡山シーガルズと市内スポーツ少年団等の交流会を実施(3ライズリーグ等)する。 | B  | ○ファジアーノ岡山サッカー講習会<br>市内の小学生1年生から6年生を対象に開催。参加者90名と昨年の49名から大きく増加した。<br><br>参加者は、年齢層によるグループ分けにより、初心者から経験者までファジアーノ岡山コーチと楽しくふれあいながらサッカーの基礎を学ぶことができた。<br><br>○チームのコーチは岡山シーガルズ！<br>(コーチ派遣事業・新規事業)<br><br>市内でバレーボール競技を行っているスポーツ少年団、各中学校の希望団体を対象に、岡山シーガルズのコーチ、選手が各練習会場に行き、指導を行った。年間を通じて9団体がそれぞれの団体のレベルに応じたきめ細かい指導を受けることができ(各5回、885名)、競技力の向上に大きく貢献した。 |

| 事業名                          | 事業実施目標                                                                                                                            | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スポーツふれあい交流事業の実施<br>【スポーツ振興課】 |                                                                                                                                   | B  | <p>○たかはし広がる子どもの夢事業「甲子園球場へ行こう！」</p> <p>子どもたちの夢や感動を支援すること、本物にふれることを目的に実施しており、昨年度のマツダスタジアム見学に続いて阪神甲子園球場の施設の裏側を見学した。見学施設の受入れ体制の関係で、実施日が夏休み最終日となり、参加者は28名と少なく日程調整の部分で課題を残した。</p> <p>○3 ライズリーグサッカー大会(スプリング・サマー・オータム・ウインターステージ)</p> <p>平成23年度から4季開催(平成22年度は、2回の開催であった)となった3ライズリーグは、市内外からの多くの参加者により開催された。参加者は、お互いの競技技術の向上、交流・親睦を深めることのできる、意義ある大会となった。</p> |
|                              | 人格形成において重要な時期である小学校児童、特に目的と手段を合わせて考えることができるようになる、5年生を対象とし、「夢をもつことの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」を講義と実技を通じて教える「夢の教室」(5/16～26)を学校教育課と連携して実施する。 | A  | <p>○JFAこころのプロジェクト「夢の教室」</p> <p>平成23年度、初の開催となる、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内の全小学校5年生を対象として実施した。</p> <p>「夢の教室」では、まず前半のミニゲームで「フェアプレー精神」、「仲間と協力することの大切さ」を、後半の授業では、銀メダリスト「有森裕子」さんをはじめとする、元日本代表や各スポーツで活躍した、トップアスリート「夢先生」5人が、体験談をもとに、失敗を乗り越えて夢や目標に向かって努力することの大切さや、夢をもつことのすばらしさを伝えていただいた。</p>                                                                    |

| 事業名                          | 事業実施目標                                             | 評価 | 成果・課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------|----------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スポーツふれあい交流事業の実施<br>【スポーツ振興課】 |                                                    | A  | 子ども達は、真剣な表情で授業を受け、将来の夢について考える機会となった。<br>本事業は小学校5年生を対象としているが、複式学級の児童が参加する場合には参加できない児童が自習となるなど課題がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| スポーツ交流合宿の実施<br>【スポーツ振興課】     | スポーツ交流人口の掘り起こしを行うため、バレーボールとサッカーによる高校や大学の交流合宿を実施する。 | B  | ○岡山シーガルズスプリングキャンプ in 高梁<br>昨年度に引き続き、岡山シーガルズが3日間、高梁市でキャンプを実施した。<br>キャンプ期間中は、バレーボール実技講習会やストレッチ教室、また学校訪問や公開練習など、市民とトップアスリートの交流を通じて、市の活性化に繋がる事業を展開した。<br>○吉備国際大学男子サッカー部主催交流合宿<br>吉備国際大学男子サッカー部の協力により、夏季・冬季の平日を中心とした、交流合宿を実施した。<br>これは、神原スポーツ公園を活用し、市外・県外の大学・高校を中心とした複数団体による合宿を開催し、施設の有効活用・交流人口の獲得を目的としたもので、参加者は中・四国を中心とした約1,700人となり、スポーツによる今までにない新たな交流人口の獲得と、長期休暇中の平日の体育施設利用率を向上させ、一定の成果を上げた。<br>今後は、市内全域の体育施設を対象として平成24年度から施行する、高梁市文化・スポーツ交流事業奨励金制度を活用した、バレーボール・サッカーに限らない、幅広いスポーツによる交流人口の獲得を目指す。 |

## V 学識経験者の意見

- 生涯スポーツと競技スポーツの推進を図り、子どもから高齢者までが何らかの形でスポーツに参加できる機会を設けていることは素晴らしい。
- 市民の多くがスポーツに関わりをもち、生涯スポーツを通じて人生を楽しみながら健康維持を図っていることと、各体育施設の利用人数や、スポーツ教室の参加人数等の関わりをデータで表したらどうか。
- ヒルクライムチャレンジシリーズの開催やサッカー競技等を通じて、スポーツ交流人口が着実に増加している。